

職業紹介法中改正法律案外二件

委員會議錄(速記)第六回

第六回 大正十二年三月十二日

研究ヲ遂ゲタイ、斯ウ云フ積リデマダ決定致シテ居リマセス
 ○板野委員 是ハ随分甚ダ失禮ナ申分デスケレドモ、此解
 雇問題ハ民法ニ規定ガアリマシテ云々デアルトカ、又此點
 ニ付テノ研究ヲ遂ゲテ居ナイトカ仰、シヤル事ハ、私甚ダ杜
 撰ト言フカ、怠慢ト申シテハ相濟ミマセヌガ、工場法ノ改正
 案ヲ提ガテ起ツ以上ハ、其點マデノ研究ヲ遂ゲナケレバ出来
 ス、無論解雇問題ハ解雇ヲ以テ脅威サル、事ノ虞ハアル、管
 ニ妊娠婦ノミナランヤト云フ事デアレケレドモ、其中ノ最モ
 著シキモノハ妊娠婦デアルト思ヒマスガ、之ニ對シテスラ民
 法ニ規定ガアルカラ云々ト云フヤウナ事デハ、此一定ノ期間
 妊娠若クハ分娩ノ爲ニ休業スル事ノ出来ル其權利ヲ與ヘタ
 シテモ、之ガ有名無實ニナリ、若クハ之ガ爲ニ解雇サレ
 ト云フ結果ヲ生ジテ、寧ロ職工ヲ苦メル結果ニナルベキモ
 ノデアッテ、改正案ヲ作ル以上ハ、當然思フ此ニ致シテ、是ノ
 對策ヲ考ヘナケレバナラヌト思フケレドモ、マダ研究サ
 レテ居ナイトスレバ致方ガナイ、之ニ付テハ外國ニモ立法
 例モアルシ、十分ノ手本モアル筈デスカラ、何等カノ茲ニ御
 考ガアルグラウト思ヒマシタケレドモ、無イトスレバ致方
 モナイ、ソレナラバ一ツ此方面ノ解雇ガ——脅威サレル點
 ノ御研究ガ熱シテ居ナイトスレバ、致方ガアリマセヌガ、唯、
 一ツ御尋致シテ置キタイ、ソレハ他ノ方面デス、工場監督ノ
 コトデス、工場法デ少々立派ナ規則ヲ拵ヘタ所デ、實際ソレ
 ガ工場ニ於テドウ云フ風ニ働カト云フコトハ、一ニ工場
 監督ノ結果ニ依ル、前同ノ委員會會デ承リマス、各府縣ニ何
 カ工場監督官ガアルトカ云フコトデアリマス、アリマス、現
 ニ大阪ナドニモ置イテアル、今ノ工場監督官ナント云フ奴
 ヲ以テ、是デ工場監督ガ十分ダト信頼シテ居ルナラバ、
 政府當局ノ諸君ノドウモ暢氣ナルコト驚クベシト云フ外ハ
 ナイ、是ハ是ダケノ言葉デ定テ居ル、東京ヲ御覽ナサイ、大
 阪ヲ御覽ナサイ、工業地ヲ御覽ナサイ、工場監督官ト云フ奴
 ノ働キガドウ位デアルカ、ソレデアル……
 ○鈴木委員 板野君、奴ト云フ言葉ハ……
 ○板野委員 奴ト云フ——サウ云フ言葉ガ出タカ知ラス
 カ、ソナナ言葉ヲ使ッタ覺エハナイガ若シアレバ取消ス、デ
 唯、茲ニ承ツテ置キタイノハ、本當ニ工場法ヲ適用スル爲
 ニ、工場監督ニ付テハドウシテ之ヲ監督シテ、本當ノ法律
 通り行ハヌト云フ御積リデアルカ、承ツテ置キタイ、ソレトモ
 所謂工場監督官トカ稱スル今ノ連中デ、十分ト云フノデア
 ルカドウカ、是ダケデアル、區々タル字句ノ如キハ言ハヌ、
 規則ヲ拵ヘテモ實際ニ行ハシナイ、強者ト弱者ノ關係ニア
 ル、規則ガドウアラウト、ソナナコトヲ知ッテ居ル職工ナド
 ハナイヤウナシタカラ、是ハ連モ餘程監督ヲ嚴シナケレバ
 ナラス、此點ニ對スル政府ノ御用意ハ如何デアリマスカ

○河原田政府委員 段々御尤ナ御意見ト拜承致シマスガ、
 大體ノ仕組ハ過日申上ゲマシタヤウニ、各地方ニ配置シテ
 居リマス工場ノ監督官ト云フ者ヲ中心ニ致シマシテ、サウ
 シテ工場監督ノ實ヲ舉ゲタイト考ヘテ居リマスガ、只今御
 説ノ如ク要スルニ法ハ死文デ、之ヲ運用スル人如何ニ依ッテ
 其効果ヲ舉ゲマスノデ、此點ニ付テハ中央ハ勿論地方ニ於
 テモ出来ルダケノ指導ヲ督勵ヲ致シタイ積リデアリマス、
 固ヨリ工場監督官ノ數ハ、全國ヲ通ジテ今日ノ所二百有餘
 人デアリマシテ、之ヲ以テ十分ハ到底言ヘマセヌケレド
 モ、是ガ先ヅ中心ニナッテ、ソレカ——其手足トシテソレ
 必要ナル警察官モ使ヒ得ルヤウニナッテ居リマス、ソレカラ
 又一面ニ於テハ、段々御話ノ如ク出来ルダケ職工方面ノ狀
 況ヲ能ク知ラナケレバナラス、又職工方面ノ希望等モ能ク
 玩味シテ、其方ノ眞意ヲ能ク了解スルヤウニ努メナケレバ
 ナラヌト云フコトニ付テハ、政府ノ方針トシマシテモ、又地
 方ノ方針トシマシテモソレ——工場監督官ノ會議等ノ際ニ
 能ク訓示ヲ與ヘテ居リマスヤウナ次第デ、要スルニ一面ニ
 於テハ事業家ノ僚友トモナリ、又一面ニ於テハ職工ノ極メ
 テ親シイ朋友トナッテ、兩方面カラ最モ適當ナル案ヲ立テ、
 指導ト監督ヲ適當ヤウニテ行クヤウニト云フコトヲ數次ノ
 訓示ヲ與ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ又一面
 單ニ監督取締ト云フコトバカリデナク、指導獎勵ノ方ニ氣
 ヲ付ケマシテ、段々各地方ニ所謂工場懇話會ト云フヤウナ
 モノノ設立ヲ獎勵致シマシテ、要スルニ工場法ノ適用ヲ受
 ケテ居ル工場主ヲ以テ組織シテ、サウシテ工場法ノ趣旨ヲ
 徹底ニ努メルヤウニ、工場監督官アタリガ中軸ニナッテ、相
 談相手トモナリ、指導者トナッテ居ルヤウナコトデアリマ
 ス、御話ノ如ク只今ノ工場ノ監督官ノ數ダケデハ、之ヲ以テ
 十分ハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、只今申述ベマシタヤウ
 ナ趣旨ニ於テ、出来ルダケ御説ノヤウナコトニ副ヒタイト
 努メテ居リマスノデ、其邊ノ所ハ御了承ヲ願ヒタイト存ジ
 マス
 ○板野委員 何時カラ本改正法ハ施行スル御豫定デセウカ
 ○河原田政府委員 是ハ本法ノ施行ハ勅令ヲ以テ定メルコ
 トニナッテ居リマスノデ、法ノ成立後出来ルダケ早く實行シ
 タイト考ヘテ居リマス
 ○板野委員 ソレヲ御尋ネシタノデス、本法施行ノ期日ハ
 勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イデアリマスガ、政府ノ御考ハ何
 時カラ施行スル御積リデアルカ、成ベクデハ御答ニナラス、何
 時ト云フ豫定デアルカ、御豫定ノ日ヲ聽イタノデス
 ○河原田政府委員 本法ヲ改正致シマスル、例ヘバ適用
 工場ノ範圍ヲ擴張スル、勞働時間ヲ制限スル、例ヘバ適用
 コトニ關聯致シマシテ、勅令省令等ニモ可ナリノ改正ヲ加

ヘナケレバナラスノデ、是等ヲ拵ヘテカラデナイト、完全ノ
 施行ト云フコトハ出来マセヌカラ、勅令省令等ノ修正ニ直
 ニ取掛ッテ、出来ルダケ早く實行シタイト考ヘテ居リマス、
 何時幾日ト云フコトハ、サウ云フ之ニ伴フ規則ノ改正ガア
 リマスカラ、一寸御答ニ致シ兼ネマス
 ○塚本政府委員 先程板野君カラ産前、産後、妊娠婦ノ
 休養ニ付テノ御尋ニ對シマシテ、何ダカ少シ答辯ガ足りナ
 カッタヤウニ考ヘマスノデ補足致シテ置キマス、産前ニ於テ
 ハ本人ノ申出ニ依ッテ休業ヲサセル積リデアル、産前ハ客觀
 的ニ何時デモハッキリ分ルト云フ譯デモナイ場合ガアリマ
 ス、産後ハ明カナ客觀的事實ガ認識シ易イノデアリマス、此
 場合ニ事業主、工場主ガ解雇スルコトガアリハシナイカト
 云フコトヲ一希氣遣ハレタヤウデアリマスガ、是ハ今日ノ
 現狀ニ於テ中々其解雇ガ容易ニ出来ルモノデハナイ、實際
 ノ事情ヲ御覽ニナルト、是ハ需要供給ノ上ニ於テ勞働者ハ
 中々解雇出来ルモノデハナイ、併シソレハ事實問題トシテ
 假ニ姑ク措イテモ、健康保險法ノ關係ニ於テ、産前産後ニ於テ
 所謂療養手当ヲ給スルコトニナッテ居リマス、此給與ハ法律
 ニ依ル給與デアリマスガ、當然産婦ガ或ハ妊娠ガ受クル、
 而シテ此點ニ付テ事業主ニハ利害關係ガナイ、ソレ故解雇
 スルダケノ理由ハナイ、マダ假ニ解雇ヲ禁ズルコトシテモ云
 ヲト云フコトハ、政府委員ガ先程答辯致シタ通り、此間解雇
 ヲ禁止シテモ出テ來タキニ解雇スレバ、ソレマデト云フ
 論理上ノ話デアリマスケレドモ、事實ニ於テハ只今申シタ
 ヤウナ利害關係ニ於テ解雇ハシナイ、出来ナイト思ヒマス
 ○武内委員 マダ私等モ質問ガアリマスガ、殊ニ飯塚君ナ
 ドニハ色々質問ガアルコト、考ヘマスノデ、過日ノ申合セ
 ニ依リ逐條ノ審議ヲシテ、サウシテ一應ヤッテ行クト云フコ
 トニナッテ居ルノデアリマスカラ、豫定ノ順序デ御進行ヲ願
 タ方ガ審査ガ早クハナイカト思ヒマス
 ○鈴木委員長 飯塚君、今ノ武内君ノ言ハレルヤウニ半分
 逐條ニナッテ居リマス、僅カデ終リマス、終ッテ後ニ成タケ御
 質問ヲ許サウト思ヒマス、サウスルト第十五條ハ質問ガ終
 了シテ居ラスヤウデシタ(濟ミマシタ)ト呼フ者アリ)ソレ
 デハ十六條——二十條——(二十二條マデ濟ンダ)ト呼フ
 者アリ)サウスルト逐條ノ……
 ○武内委員 附則ノ第二項ニ「本法中十六歳トアルハ本法
 施行後三年間ハ之ヲ十五歳トス」斯ウ云フコトガアルノデ
 アリマス、其次ニモアリマスガ、ソレトハ是ハ趣意ガ違ヒマ
 シテ、本法中十六歳トアルハ、本法施行後三年間ハ十五歳
 デアルト云フコトニナルノデアアルガ、果シテ幼年職工ヲ保
 護スル所ノ必要ガアルトスルナラバ、必シモ三年ヲ待タナ
 クトモ宜イ、一年待テバ十分デアルト私ハ考ヘル、三年ヲ待

ツト云フ御趣意ハ、工場側ノ事情モ考ヘタコトカラ出タコト、思ヒマス、其事情ト云フノハ何デアルカト云フト、今日迄使ッテ居ル者方使ハレナクナルト、工場ハ非常ニ困ルト云フ所カラ來タノデアラウト思フ、併シ一年待テバ現ニ使ッテ居ル十五ノ者ハ十六ニナルノデアリマスカラ、工場ニ混亂ヲ來ストカ、是迄使ッテ居ル者方止メサセナケレバナラヌト云フヤウナコトハ一ツモ生ジナイ、デアルカラ本法中十六歳トアルハ、本法施行後一年間トスル方ガ立法ノ趣旨ヲ適切ニ現スコトニナルノデアリマスガ、何故ニ之ヲ三年ト爲スツタノデアリマスカ

○河原田政府委員 是ハ一面ニ於キマシテ、只今御話ノアリマシタヤウナ工業ナリ工場ノ状況デ、多少斟酌シタ結果デアリマス、御承知ノ如ク十五歳以上十六歳ノ者方相當ノ數デアリマスノデ、直ニ是ガ實行ニナリマス、勞働時間モ一時間短縮サレト云フヤウコトデアリマスシ、又一面ニ於キマシテ、十條ノ結果トシテ危險有害ノ業務ニハ十五歳未滿ノ者ハ使ッテナラヌト云フ現行法ニナッテ居リマスカラ、是亦十六歳以下ノ者ハサウ云フ方面ニ働クコトハ禁止サレルコトニナルノデ、彼此レ斟酌致シマシテ、此年齡ノ問題ハマア三年位猶豫ヲ與ヘヤウ、斯ウ云フコトニナッテ次第デアリマス、又半面カラ考ヘレバ、此點ハ勞働者ノ方カラ考ヘレバ、要スルニ一時間勞働時間ガ減ルト云フ點デアリマスカラ、三年位ノ猶豫ヲ置イテモ、大體兩方約合ガ取レテ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘタヤウナ次第デアリマス、而シテ國際勞働總會ノ條約案ニモ、千九百二十五年カラ施行スル點モ斟酌致シマシテ、マア三年位ノ猶豫ヲ置カウ、斯ウ云フ積リデスウ云フ風ニ規定シタ次第デアリマス

○武内委員 御答辯ガ私ノ御尋シタコトニ順應シナイコトニナル、私ノ言フノハ成程之ヲ御設ケコトナッテハ、工場ナドノ事情ヲ參酌サレタノデアラウ、併シ其工場ノ事情ト云フノハ、現在使ッテ居ル者方今迄十一時間ヤラセテ居ルノデ、俄ニ十時間ニセナケレバナラヌ、或ハ深夜ノ規定ニ於テ、一時間就業ヲ短縮シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ俄ニ出來テハ、工場ガ非常ニ迷惑ヲスルカラ御斟酌ニナッテデアラウ、ソレハ至極御尤デアリマス、所ガ一年待テバ其人ハ十六ニナル、今使ッテ居ル所ノ職工ノ十五歳ノ者ハ來年ニナレバ十六ニナルカラ、其者ニ對シテ一時間短縮深夜業ヲ禁止スルヤウナ規定ニ嵌ラヌ、ダカラ幼年工ヲ保護スル必要ガ現在アルトスルナラバ、一年後デモ少シモ支障ナイ、工業者ガ人ヲ雇入レルノニ就テ、初カラ十分準備ヲシテ、其積リデヤルコトガ出來ル、現在雇ッテ居ル者ハ規則ノ改正ニ依ッテ種々ノ故障ヤ支障ヲ生ジナイコトニナル、ソレヲ三年

トシタノハドウ云フ譯デアアルカ、其御説明ヲ願ヒタイ、國際勞働會議ノ理由デアルト云フコトナラバ、ソレデモ宜イガ、工場ヲ斟酌シタコト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○河原田政府委員 只今申述ベマシタコト、或ハ同ジ事ヲ繰返スコトニナルカ知レマセヌガ、改正案ハ一面ニ於キマシテ工場法ノ適用ノ範圍ヲ擴張シマシテ、從來十五人ヲ十人ニ改メルト云フヤウナコトモアリマスノデ、斯ウ云フ小サイ者ヲ使ハレテ居ルト云フヤウナ狀況モアリマスシ、旁々ソレ等モ斟酌致シテ、マア大體三年位ノ猶豫期間ヲ置クコトガ兩者ノ爲ニ便利デアラウ、斯ウ云フ風ナ趣旨デゴザイマス

○鈴木委員長 政府委員ニ御尋シテ置キマスガ、第三條ノ十二時間ヲ十一時間ニ改メタ結果トシテ、施行細則ノ第三條ニ於テ十箇年カ八箇年殘テ居ルガ、是モ矢張三箇年ニ短縮サレルトコトニナリマスカ

○河原田政府委員 御尋ノ年限ハ其積リデ居リマス

○鈴木委員長 八箇年ハ殘テ居ルノデスカ

○河原田政府委員 施行令ハ其儘ノ積リデアリマス

○板野委員 附則ノ一番末項、前項ノ規定ニ依リ云々、毎月少クトモ四回ノ休日ヲ設ケ云々、此四回ノ休日、今ノ工場法ニモ二回ノ休日ト云フヤウナコトハ書イテアルケレドモ、是ガ現行法デハ其休日ノ間ニ是ダケノ日ヲ置クト云フヤウナ制限ハナイ、ソレダカラ一日二日工場主ノ都合デ續ケテ休マシテ、後ト二十八日間繼續シテ使ッテモ構ハヌ、斯ウ云フ解釋ニナルト思フ、今度ノ改正案ハ毎月少クトモ四回ノ休日ヲ與ヘル、此四回ノ休日ハ其間ニ何日ノ日ヲ置ク、丁度一月ヲ四ツニ分ツデスルヤウナ風ニナルノデスカ、ソレトモ四回ノ休日、四日間休日ヲ與ヘレバ其間ニ何日ノ日ヲ置カナケレバナラヌト云フ制限ハナイヤウデスカ、サウ解釋シテ宜イデセウカ

○河原田政府委員 此末項ノ規定ハ法文ノ點カラ申上デマスト、第七條ヲ整理致シマシタ結果、即チ第六條ヲ削除シ、徹夜休止ヲ削除シテ、三年ニ約メテ參リマシタ結果出テ來タノデアリマス、現行法ハ四回ノ休日ヲ與ヘマスコト、例ノ晝夜ニ交替ヲヤッテ居リマスモノニ對シテ規定シテ居リマス、而シテ此業務ニ當リマスモノハ紡績業デアリマスガ、其狀況ヲ見マス、大體一週間ヲ基本トシテ、略ボ週休ニ近イヤウナ遣方ヲヤッテ居リマス、一同ノ場合モ大抵一日トカ十五日ヲ休ムト云フコトデヤッテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ外國ナドト慣習ガ違ヒマスガ、一體理想カラ云ヘバ總テ秩序ヲ整ヘル上ニ於テ週休ト云フコトハ宜イヤウニ思ヒマセヌガ、日本ノ習慣等デ御祭日ニ便宜休ミタイト云フコトモアリマスカラ、融通ヲ付ケテ、別ニ法文ノ上デハキチントシ

タ規定ハ設ケナイ方ガ宜イト考ヘタノデアリマス、現狀デハ週休ニ近イヤウニ近寄ッテ休ミヲ與ヘルコトハナイヤウニ考ヘマス

○正木委員 一寸第二項ニ付テ伺ヒマスガ、職工ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テハ本法施行後三年間ハ第四條ノ規定ヲ適用セズト云フノデアリマスガ、是ハ夜デモ全部ト云フ意味デアリマスカ

○河原田政府委員 左様デス、晝夜二十四時間ヲ二組ニ分ケテヤッテ居ル作業ノコトデアリマス

○正木委員 第四條ノ規定ヲ適用セズト云フコトハ……

○河原田政府委員 此四條ノ規定ヲ適用セズト云フノハ、二組ニ分チ晝夜交替ヲヤッテ居ル作業ニ付テハ、詰リ第四條ヲ適用シナイノデアッテ、第四條ニ於テハ徹夜業ヲ禁止サレテ居ルガ、二年間ダケハ禁止シナイデ認メテヤル、斯ウ云フ規定ヲシテ居ル譯デアリマス

○正木委員 サウシマス、三年間ハ二組ニ分クモノハ徹夜ヲシテモ構ハナイト云フノデスカ、三年後ニナッテラドウ云フ工合ニ之ヲ禁ジマスカ、午後十時カラ午前四時マデノ間ハ女子トカ、十五歳未滿ノ者ニハ仕事ヲヤラスコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスネ、ソレハ重大ナ問題デアリマス、三年後ハ全部禁止スルト云フノト、三年間ハ十分ニ自由ニ許スト云フコトハ大變ナ違ヒガアルノデアリマス、三年ノ間ハ十五年未滿ノ者トカ、或ハ女子ニ徹夜業ヲ許シテ構ハナイガ、三年濟ンダラ全部イケナイト云フコトデハ、其間ノ懸隔ガ大變ニヒドイト思ヒマス

○河原田政府委員 現行法デハ施行後十五年間猶豫シテアリマスノヲ、短縮シテ詰リ三年間トシタ次第デ、三年後ハ午後十時カラ午前四時マデハ仕事ハ出來ナイ、殘リノ十七時間、其間ダケ保護職工ノ勞働時間ヲ限ルト云フコトナノデアリマス、是ハ三年ノ猶豫ヲ與ヘテ、其間ニ設備ノ改善ナリ設備ノ擴張ナリ、適當ノ始末ヲスルヤウニト云フ趣旨カラ、三年後ニシタノデ、三年間ヲ置ケバ相當準備ガ出來テ、午後十時カラ午前四時マデ勞働ヲ禁止セラレタモノ、勞働者ノ方面ハ素ヨリ、事業家ノ方面ニモ大シタ支障ハナイト云フ見込デアリマス

○正木委員 幼年者或ハ婦女子ヲ保護スルト云フコトハ時代ノ法ノ精神ニナッテ居リマスガ、其精神ガアレバ三年間モ許シテ置クノハイカス、此健康問題ニ付テハ一年デモ猶豫ハ出來ヌ、一箇年デモイカス、出來ルダケ早クヤラナケレバナラヌト云フコトニ理窟上ニナリマスガ、三年間ダケ宜シイト云フノハオカシイ、餘程病人ガ出來、健康ヲ害シテモ宜シイト云フコトハ、論理上オカシナモノデアリマスセヌカ

○河原田政府委員 其點ハ從來申シマシタ如ク、保健衛生ノ理想カラ申セバ、即時夜業ヲ禁止スルト云フコトガ是ガ

一番宜イコト、思ヒマス、サリナガラ一面ニ於キマシテ、日本ノ産業狀態並ニ生産狀態ヲモ考ヘナケレバナリマセス、本法ノ適用ヲ受ケルノハ、御承知ノ通り日本ノ産業中重要部分ヲ占メテ居ル紡績業デアルガ、之ヲ直ニ禁止スルコト云フコトニナリマス、生産ニモ影響シテ、其結果生産品ノ價格ガ上ツテ、消費者ニ迷惑ヲ及ボシ、又労働者側カラ云ヘバ、二組交替ヲヤツテ徹夜ヲシテ居、タノヲ禁ジテ、結局労働時間ヲ減スコトニナリマス、或ハ失業業者ガ出來ルカモ知レヌト云フヤウナ點ヲ考慮シテゴ、三年ト云フ期間ヲ置イタノデアリマス、サウシテ其間ニ設備ノ改善ナリ機械ノ増設ナリヲシテ、支障ナイヤウニサセタイト云フ斯ウ云フ意味デ、兩方カラ考ヘタ次第デゴザイマス

○正木委員 サウスルト、三年後ニ於テ幼年者並ニ婦女子ハ二組交替ノ場合ニハ、晝ヤラシテ夜ハ男職工ニ勤メサセルト云フコトニ結局ナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、是ハ何モ三年ヲ持タナクテモ、一年位デヤレサウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○河原田政府委員 是ハ事業ノ性質上詰リ三年後ハ午後十時カラ午前四時マデハ働イテハナラヌト云フコトニナリマスカラ、結局午前五時ヨリ九時マデノ十七時間ノ労働時間ニ限ル譯デ、隨テ禁止後ノ遺方ハ、晝間一交替デヤルカ、或ハ二交替即チ十七時間ヲ二ツニ分ケテ、交替デヤル行カスウ云フ遺方ニナラウト思ヒマス、而シテ事業ノ性質カラ申シマス、紡績ナドハ大抵女工ヲ使フコトハ困難ナ話ナ、實際ニ於テ出來ナイコトデアリマス、隨テ三年後ノ遺方ガ晝間此第三條ニ依、テ十一時間ノ労働ヲヤルカ、或ハ十七時間ヲ二ツニ分ケテ二交替デヤルカト云フヤウナ作業ノ仕方ニナル筈デ、是デ行ケバ三年ノ猶豫ヲ置イテ、右ノヤウナ方法デヤル行ケバ、労働保健ノ保護モ、亦産業ノ上カラ見デモ支障ハナカラウ、斯ウ云フ積リデアリマス

○板野委員 一寸此所デ御尋シテ置キマスガ、此本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマシテ、其期日ニ付テハ色々勅令省令ナドニ關係ヲ持ツカラ、豫メ云フコトハ出來ス、斯ウ云フ政府ノ御意見デアリマスガ、是ハ色々ノ法律ト關係ヲ持テ居ル重要ナル規定デアリマスカラ、其御答辯ハ諒ト致シマスガ、私ハ是ノ大凡ノ見當ヲ伺フデ置キタイノハ、元々工場法ノ制定及ビ工場法ノ實施ト云フコトニナルマデニ、ドンナ沿革ヲ經テ居ルカト云フコトヲ伺ヒマス、農商務省デ工場法ノ制定ニ著手致シマシテ、ソレカラ工場法ガ明治四十四年デスガ初テ法律ニナツテ、其間ニハ幾十年ト云フ日子ヲ要シテ居ル筈デス、是ハ農商務省ノ諸君ノ方ガ能ク御承知デアラウト思フ、サウシテ色々職工ノ方ト、ソレ

カラ事業主若クハ工場主ノ方トノ利害ガ相衝突スルガ爲ニ、農商務省ノ方ヘハ、事業主或ハ工場主ノ方カラ色々意見ノ陳述ナドガアツテ、種々訂正ヲサレタ點モアル筈ナンデス、ソレデ明治四十四年ニ法律ガ出來ナガラ、是ガ實施ニナツタノガ確カ大隈内閣當時ノ大正五年デアッタと思フ、是ハ衛生保健其他産業上深キ關係ヲ有スルコトハ勿論デアリマスケレドモ、ドウモ職工ヲ保護スルコトガ事業家ノ不利益ニナルト云フ點デ、有力ナル事業家ノ方カラ農商務省ノ方ヘ意見ノ陳述ガアルト云フコトガ、實施ノ遲レタノ原因ニナツテ居ルヤニ承知シテ居リマス、今度ノ改正案ニ對シテモ、色々勅令ヲ改正シ、省令ヲ改正シ、尙ホ附屬ノ規則ナドニ手ヲ著ケルマデニハ、可ナリ事業家或ハ工場主ト云フ者カラ意見ノ陳述ト云フカ、相當ノ註文ガアルガラウト思フ、ソレデアリマスカラ唯、省令若クハ勅令ノ改正ト云フ以外ニ、諸多ノ面倒ガアルガラウト思ヒマスガ、サウ云フ事ヲ眼ニ置ク必要ハナイ、省令若クハ其他之ニ關係スル法律ヲ改正スル時間ガデケラ見レバ宜イデアリマスカラ、今日大凡是等ノ改正ハナドノ位ノ時間デアレルト云フコトハ算盤ガ立つ筈ト思ヒマスガ、政府ノ方デハ何時頃カラ實施スルト云フ大凡ノ御豫定カ、ソレヲ承、テ置キタイ、サウセスト本法ノ施行ト云フモノガ、今迄ノ例ニ依ルト非常ニ遅レル、ソレデアリマスカラ政府ノ方デハ大凡何時頃カラ實施ガ出來ル見込デアラスト云フダケノ御言明ヲ得テ置キタイと思ヒマス

○塚本政府委員 此法律案ガ通過致シマシテ發布ニナリマシタ、之ニ伴フ勅令省令等ハ、法律發布後調ベルノデハナイ、今既ニ調ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、當局トシテハ成ベク早く施行シタイ信念デアリマス、ソレデ勅令省令其ノ準備上遅レルコトハ已ムヲ得マセスガ、其爲ニ必要トスル期間以外ニハ、成ベク早く此法律ノ施行ノ出來ルヤウニシタイト思フテ居リマス、先ヅ九月若クハ十月頃ニハ施行ガ出來ヤウカト考ヘテ居リマス、見込ダケラ申上ゲテ置キマス

○飯塚委員 私初テ出シタノデ、或ハ質問ガ重複スルカモ知レマセマスガ、其點ハ委員諸君及政府委員ニハ恐縮デアリマスケレドモ、御許ヲ願ヒタイ、私ハ工場法ノ適用ノ範圍ト時間ノ事ニ付テ質問シタイ、先以テ時間ニ付テ伺ヒマス、此委員會ニ於ケル質問應答ヲ新聞紙上デ見マス、時間ヲ從來ヨリ一時間短縮スルコトガ改正ノ要旨ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、私共工業ヲ經營シテ居ル者カラ見レバ、此一時間短縮ト云フ根據ハ何レニ在ルカ解ラヌ、唯、新聞紙上デ此委員會ノ様子ヲ見ルト、労働條約ノ趣旨ニ依、テ一時間ヲ短縮スルト云フヤウデアリマスガ、私ハ今日ノ情況ニ於テ、何モ萬國ノ労働會議ノ條約ニ據ルベキ必要ハナイト

思フ、日本ハ日本ニ適スル工場法ヲ適用スルコトガ、今日日本ノ社會政策産業政策上必要ト思フ、故ニ今日ノ場合一時間短縮シナケレバナラヌト云フ必要ハ何處ニ在ルカ、一應承リタイト思ヒマス

○河原田政府委員 其點ニ付テハ過日來御答申上ゲテアルノデ、重複ノ事ヲ申上ゲルノハ恐縮デアリマスガ、一應御聽取ヲ願ヒマス、是ハ單ニ労働條約リデハナク、從來日本ノ情況カラ申シマシテ、第一労働者ノ健康ヲ維持スルカ増進スルカ云フ上カラ考ヘテモ、非常ニ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、労働者ノ保護ト云フコトハ申スマデモナク、労働者個人トシテモ極メテ必要デアル許リデナク、國家ノ産業増進ノ上カラモ、永久ニ労働力ノ供給ヲ維持シテ、産業ノ發展ニ資スル爲ニハ、労働者ノ健康ヲ維持スルコトガ極メテ必要デアルト考ヘマス、ソレニ就テ最モ大切ナノハ、夜業ノ時間デアルトカ、労働ノ時間デアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ理想カラ言ヘバ、労働時間ハ成ベク短イ方ガ宜イ、保健ノ上カラ言フテモ、労働者ニ修養ノ時間ヲ與ヘル上カラ言フテモ、成ベク短クシタ方ガ宜イト思ヒマスガ、是亦一面ニハ産業上ノ點モ考慮シナケレバナリマセマス、色々考慮ノ結果原案ノ如ク一時間ノ短縮ニシタ次第デアリマス、是ハ衛生上原案ノ如ク一時間ノ短縮ヲ調ベテ所ニ依レバ、労働時間ヲ減少スルト矢張り労働者ノ健康ヲ良クスルト見エマシテ、缺點率ヲ非常ニ少クスル、ソレカラ労働者ノ病氣ニ罹ル率ガ非常ニ少ナルト云フ好結果ヲ現シテ居リマス、故ニ成ルベク労働時間ノ少イト云フコトガ労働者ノ保健ノ上カラ見テ極メテ必要ナ事ト思フノデアリマス、併シ急激ニ産業上ニ影響ヲ及ボスコトハ宜シクアリマセマス、大體十一時間トスレバ産業上ニサウ大シク影響ハ無イ、寧ロ労働能率ガ良クナル、缺點者モ少クナルシ、一面ニ於テハ工場ノ色々設備ノ改善ト云フコトニモナリ、自然ト産業ノ發達ニ資スルデアラウト云フ見込デアリマス、ソレカラ國際關係カラ申シマシテモ、是ハ御承知ノ通り日本ガ國際労働會議ニ加入致シマシテ、現ニ人ヲ派遣シ、又國際労働機關ニ一人ノ代表者ヲ常置セシメテ居ルト云フ譯デ、荷モ之ニ加入シテ居ル以上ハ、差支ナイ限リハ、國際條約ヲ尊重シテ行クト云フコトガ、國際上カラ極メテ必要デハナイカト考ヘマス、而シテ第一回ノ労働會議ニ於テ、日本ガ如何ナル態度ヲ執ツカト云フト、原則トシテ八時間労働ヲ世界一般ニ施行シヤウト云フノニ對シテ、日本ニ除外例ヲ要求シテ、保護職工即チ女工少年工ニ對シテハ八時間、青年男工ニ對シテハ九時間半若クハ十時間ノ労働時間ヲ定メ、保護職工ニ對シテハ八時間ノ原則ヲ採ラウト云フヤウナ例外規定マデモ、日本ノ主張ニ依、テ這入ッタヤ

ウナ次第アリマス、是ハ其當時今日ト事情ヲ異ニシ、其條約案自體ヲ日本ニ採用スルコトハ、勞資兩方面カラ見テ適當デナイヤウニ思ヒマス、其點ハ彼此斟酌シテ、此一時短縮ト云フコトヲ結論ヲ見テ次第アリマス、即チ國內ノ狀況、勞働及ビ資本兩方ノ狀況カラ考ヘ、又國際信誼ノ上カラモ考察シマシテ、適當ナル改正ヲ加ヘルコトガ必要デアラウト、斯ウ云フヤウナ趣旨デアリマス。

○飯塚委員 只今政府委員ノ仰シヤルコトハ、私モ勿論賛成デアリマシテ、此勞働時間ヲ減スト云フコトハ大體ニ於テ人道ニモ適ヒマス、又能率ノ爲ニモ宜イコトデアアルト思ヒマスガ、併シ唯、サウ云フ一般ノ純理カラハ勿論デアリマス、私ハ其萬國勞働法規ニ據ル必要ガナイ、標準シナレバ、私ハ其萬國勞働法規ニ據ル必要ガナイ、固ハ勿論或ル體ニ於テハ十一時間ト云ヒマス、ケレドモ、十一時間ガ餘リ長イノモアリマセウ、何トナレバ其業務ガ非常ニ有害ナモノ、或ハ健康上非常ニ惡イヤウナ事デアララバ、是ハ十時間トモシナレバナラヌモノモアリマス、現ニ今日此工場法ニ依リマシテモ、十二時間仕事ヲシナイモノモ事實アルノデアリマス、又或業體ニ依テハ之ヲ十二時間以上ニシテモ差支ナイモノモアル、故ニ私ハ日本ノ現在ノ狀況ニ照シテ、工場法即チ衛生保健ヲ鑑ミ、又産業ヲ鑑ミテ、此時間ノ事ニ付テハモソット適切ナル方法ガ業務々々ニ依テアルダラウト思ヒマス、ソレ等ニ付キマシテ此時間ヲ定メルト云フコトガ、最モ今日ノ工場法設定ニ付テ必要ノ事ト思フ、唯、前ヨリ一時間減ラセバソレガ衛生保健上宜イコトデアルトカ、或ハ社會政策上宜イコトデアルト云フヤウナ、純理ニ依テ之ヲ決定サレタヤウニ承テ居リマスガ、ソレハ私ノ甚ダ遺憾トスル所デ、實用ニ副ハヌコトデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ政府委員ノ御説明ニ依テ、趣旨ノ在ル所ヲ了解シマシタ、サレバ隨テ是ガ十一時間トナルナラバ、工場法施行規則ニ於テノ三條ノ機械製絲云々ト云フヤウナ事ガ、自然ト是ガ一時間減ルコトニナル事ハ當然ノ事デアラウト思ヒマス、更ニ進ンテ御尋致シマスガ、第三條ノ機械製絲製造業並ニ此輸出絹織物ニ付テ特別ニ二時間延シタト云フ此元ノ趣意デスナ、是ハドウ云フ趣意ニ於テ斯ウ延シタコトデアアルカ、ソレヲ承リタイ。

○河原田政府委員 是ハ恐ラク當時日本ノ最重要ナル産業トシテ、殊ニ輸出ヲ獎勵スルコト云フ意味ニ於テ、輸出貿易ノ主要ヲ占ムルモノトシテ、斯ウ云フ特別ノ例外ヲ設ケタモノト考ヘマス、今日ハ法律デハ二時間以内トナッテ居リマスガ、御承知ノ通り今日ハ一時間ニ短縮サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、趣旨ハ只今申述べタヤウナ貿易輸出獎勵

ト云フコトデハナイカト思ヒマス。

○飯塚委員 實ハ私共モ此工場法設定ノ時代ニ、輸出絹織物——私ハ絹織物ニ從事シテ居ル者デアリマスガ、絹織物業者、生絲業者ガ類リニ政府ニ業體ノ實狀ヲ懇ヘテ、此特別ヲ設ケテ貰フタ、其主張者ノ一人デアリマス、全ク政府委員ノ言ハレル通り、此生絲ト云フヤウナ物ハ、輸出ニ屬シテ居モノ、又業ソレ自身ガ一定ノ工業ノヤウナモノデナクシテ、或時期ニハ非常ニ忙シクシテ、或時期ニハ又休ムト云フヤウナ業體カラモ、之ヲ一定ノ時間ニ於テヤルコトハ、生絲業ソレ自身ノ業體ニ於テ出來ナイコトデアリマス、私ハ其當時モ申シマシタ通りニ、輸出絹織物ト云フモノハ、重要輸出物產ニ於テ非常ニ必要ナモノデアアル、而シテ之ヲ發達サセルト發達サセナイト云フコトハ、單ニ絹織物業バカリデナク、延イテ我生絲業ノ發達ニモ關スルコトデアアルカラ、必要ナコトデアアルカラ之ニ就テハ是非特別ノ例ヲ設ケテ貰ヒタイ、且ツ此絹織物業ノ如キハ、其業ガ元ト絹織物業ノ業デアリマス、此業ソレ自身ガ非常ニ清潔デアアル、保健衛生ノ點カラ見マシテモ、工場總テノモノガ清潔デ、又工場ノ中ノ湿度溫度ノヤウナモノモ、絹織物業ノ製造スルノハ湿度ガ六十五「パーセント」、溫度ガ五十五度前後ト云フヤウナモノヲ以テ、最モ適當トスルヤウナ有様デアッテ、衛生ニモ非常ニ差支ナイ、産業ト衛生上ノ立場ヲ以テ、是非共之ヲ直シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ當時政府ニ陳情シテ、此特別ヲ作ッタノデアリマス、而シテ只今ノ仰シヤル通りデアリマス、此原則ガ十一時間ニナルナラバ、同時ニ此施行規則ノ三條モ、亦一時間減ルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、故ニ此原則ガ一時間減レバ同時ニ此施行規則ノ三條ガ一時間減ルト云フコトハ、考ヘル餘地ガ無イ、之ニ少クモ十三時間ヲ置クト云フコトハ、十三時間ヲ置クベキ必要ガアル、外國ノ業務ノ競争ニ對シテ、又少クモ保健衛生上差支ナイト云フ此二ツノ理由ニ於テ、之ヲ置イタモノデアリマス、工場法ノ原則ガ十一時間ニナッタカラ、同時ニ是モ一時間減サナレバナラヌト云フコトハ、全ク別ノ問題ト思フ、今日ハ政府委員ハ如何ガ思召スカ知ラヌガ、此當時ハ此工場法ヲ十三時間ヲ以テ適當トシマシタケレドモ、今日ノ實狀ハ絹織物業ノ如キハ兩來支那ノ絹織物業ガ非常ニ發達シ、又亞米利加ノ絹織物業ガ非常ニ發達シテ、我ガ日本ノ絹織物業者ハ世界ノ各市場ニ於テ非常ニ競争者ヲ生ジタ、此時ニ於テハ此輸出絹織物業ノ獎勵スルコト、他ニ競争ガアルカラ、此當時ヨリハ寧ロ今日ハ輸出絹織物業ノ如キハ、モソツト働カナレバ、世界ノ競争場裡ニ立テナイト云フ實狀ニ在ル、然ルニ原則ガ一時間減ッタカラ、同時ニ是ガ減ルト云

フヤウナコトハ、是ハ抑、蓋ニ此三條ヲ置イタ趣意ト云フモノヲ沒却シタル御考カト思ヒマスガ、此邊ノ御意見ハ如何デアリマセウカ。

○河原田政府委員 施行例ニ於テ十三時間ト決メマシタ趣旨ハ、恐ラク此現行法律ニ於テ、十五年ヲ限リ就業時間ヲ二時間以内ヲ延長スルコトヲ得ト云フ事ニ對シテ、當分ノ間ハ十四時間、即チ二時間延長ヲ認メテ置クガ、其後施行後五年間ハ十四時間ヲ認メテ置クガ、即チ二時間ノ延長ヲ認メルガ、其後ノ時間ハ十三時間ニスルゾト云フ、斯ウ云フノハ、十三時間ガ宜イト云フ趣旨デナクシテ、詰リ法律ニ二時間トアルノヲ施行後五年ダケニ限ッテ、其後ハ一時間ダケ延長スルコトヲ現ハシタモノト考ヘマス、隨テ本法改正ノ結果、矢張施行令ニ於キマシテ、十三時間トアルノハ即チ十二時間ト、一時間減ルコトニナラザルヲ得ナイト考ヘマス、而シテ外國ノ競争、殊ニ支那トノ競争、其他種々ノ點ガゴザイマセウガ、固ヨリ國際的ノ競争ハ昔ト今ト變ラヌトハ考ヘマセウガ、大體ニ於テ先程申述べマシタヤウニ、一面ニ於テ勞働者モ保護シ、其健康モ増進シ、而シテ其結果トシテ勞働力ノ供給ヲ厚クシテヤッテ行ケバ、却テ産業ノ上ニモ宜イ、永イ目デ見レバ好イ結果ヲ及ボスノデアラウト思ヒマスガ、要スルニ一時間短縮ノ結果トシテ、矢張施行令ニ於テモ之ヲ改メテ差支ナイト考ヘマス。

○飯塚委員 只今政府委員ノ御答辯ハ極ク單純ナ御話デアリマス、元ト工場法制定ノ時ニ、施行規則ノ第三條ヲ、生絲輸出絹織物ト云フモノニ殊ニ二時間ノ延長ヲサレタト云フコトニ、特ニ理由ガアルト思フ、是ハ業ソレ自身ガ大體絹織物業ノ如キハ、少シノ塵ガ入ッテモイカヌト云フヤウナ綺麗ナ工業デアアル爲メ、保健衛生ノ點カラ見マシテモ、普通ノ雜ナ工業ト違ッテ、之ヲ一時間或ハ延シテモ——十三時間ニシテモ差支ナイ、是ハ他ノ業務ト區別スル主ナル原因デアリマス、假令如何ナル重要ナル物產デモ、國民ノ健康ヲ犠牲ニシテマデ之ヲシナレバナラヌト云フヤウナコトハ、是ハ人道ニ反スルコトデアリマス、ソレハ如何ナル必要ナモノデモシテハナラヌガ、此絹織物業ノ如キハ業體ソレ自身ガ非常ニ清潔ニシテ、内ノ湿度溫度ノ如キモ、最モ保健ニ適スルシ、エライ力仕事ヲスルノデハナシ、機械ニ對シテモ極クヤサシイ機械ヲ操縦スルコト云フコトカラ、業ソレ自身ガ非常ニ保健衛生ニ適スル、保健衛生上害ノ無イ業體デアアル、而シテ又産業カラ云ヒマス、此業ハ日本唯一ノ有望ナル必要ナル産業ニシテ、而シテ又外國ニ於テモ、競争者ガアル、其競争ニ打勝ツハ是非特別ノ保護ヲシナレバナラヌ、ドウシテモ之ニ打勝タナレバナラヌ、サウシテ茲ニ實力ヲ充實サセテ、若シ歐米ノ工業ノ如キ域ニ進メルコト

ガ出来タナラバ、ソレハ勿論其時ニ於テハ特別ニ時間ヲ延ス必要ナナイ、目下ノ所ハ保護デアル、此業務ヲ保護スル爲ニ、國民ノ勞働ヲ多少犠牲ニスル嫌ヒガアリマスケレドモ、是非之ヲシヤウ、是ガ却テ社會政策ニモ取テ損ナク、産業上ニモ害ガナイと思フ、十三時間ヲ當時定メタモノデアルガ、今日工場法ノ原則ガ十一時間ニナツタカラ、隨テソレヲ一時間減ラスト云フヤウナコトハ、元施行規則ノ第三條ヲ十三時間トシタ原因ニ對シテ、何等ノ理由ハ立タナイ、若シ此十三時間ヲ一時間減ラスト云フナラバ、此絹織物ガ外國ニ於テノ競争者ガ少クナル、或ハ外國ノ競争力ニ打勝ツウニナツタト云フ確力ナ論據ガナケレバナラス、又我が日本ノ絹織物業者ガ、其後工場經營ニ於テ、能率ヲ十分増進シ得ル實力ヲ發揮シタカラ、是ニ於テ外國トノ競争ニ打勝ツ見込ガ立ツタカ、或ハ實際ヲ見ルト云フト絹織物工業ハ吾々ガ言フ通りデナク、甚ダ業體ソレ自身モ保健衛生上注意シナケレバナラス事デアルカラ考慮シナケレバナラストカ、何カノ特別ナル理由ガナケレバナラマイト思フ、唯、原則ガ一時間ダカラ、元ハ十二時間ダケヲ一時間増シタ、是ハ特殊ノ理由ガアル、故ニ片方改正シテ十一時間ニシタラ同時ニ一時間減ルト云フコトハ、是ハ論據ニナラナイと思ヒマス、殊ニ今日ノ狀況トシテハ、今申ス通り不幸ニシテ絹織物工業ト云フモノハ、爾來設備モ大キクナリ、矢張機械ヲ用ヒテヤリマスケレドモ、ソレガ何モ小規模工業ニ屬シテ居リマシテ、爾來是ト見ルベキ程ノ能率ノ増進モ舉ゲルコトガ出来ナイノハ遺憾デアルト云フ如キ實情デアリマス、又外國ノ市場ニ於テモ、支那ノ織物ガ非常ニ發達シ、亞米利加ノ織物ガ發達シテ、亞米利加ノ如キハ既ニ内國ノ需要ヲ充シテ歐羅巴ニ之ヲ輸出シ、印度或ハ南洋方面マデ出シテ、始下輸出ニナラウトスル有様デアル、此際ニ於テハ、尙ホ一層奮發シテ、其營業者ハ勿論、勞働者或ハ資本家ガ共同シテ、此業務ト云フモノヲ發達サセテ、一廉ノ工業トシテ國家ノ爲ニシナケレバナラス時代ニ在ル、唯、一時間規則ガ減ツタカラ一時間減ラスト云フヤウナ事ハ、意味ヲ爲サズト私ハ信ジマス、此點ニ付テ福井、金澤ノ絹織物業者ハ、總テノ者ガ非常ニ心配シテ居リマス、今日ハ保護ノ時期デアル、何時マデモ特別ニシナケレバナラスト云フコトデハアリマセヌケレドモ、他ノ業體カラ見ルト、織物工業ハ業務ガ非常ニ清潔デアリマス、サウシテ保健衛生上カラ見テモ、多少ノ時間ヲ勞働シテモ害ノ無イト云フコトハ明カナ事實デアル、然ルニ又外國トノ競争ガアルノデ、特別ニ特別ナル十三時間ダケ位ノ業務ヲスルト云フコトハシナケレバ、到底發達ノ見込ガナイト云フ爲ニ、是非トモ之ヲシナケレバナラスト云フ議論ガアリマス、故ニドウシテモ原則ガ十一時間ニナツタカラ、同時

ニ第三條モ一時間減ルト云フヤウナ薄弱ナ議論デハ、今日社會政策ナリ産業ヲ考慮シタル規定トハ見ラレヌト思ヒマス、尙ホ重ネテ此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○塚本政府委員 飯塚君ハ此目前ノ工場法制定ノ當時、既ニ御關係ニナツテ居ルヤウニ今承リマシタカラ、定メシ能ク御承知ダラウト思ヒマスガ、現行法ニ於テ既ニ機械製絲及輸出絹織物ニ付テ衛生及海外貿易上ノ關係ヲ考慮シテハ居リマスルガ、此業務ニ付テ永久十三時間デ宜イト云フ規定ハシテ居ラヌノデアリマス、矢張施行後二時間延長シ、其五年經過シタ後ハ一時間ノ延長ニ止メルト書イテ居ル、故ニ何レノ時機ニ於テカ此機械製絲ニシテモ、輸出絹織物ニシテモ、決シテ長時間デ宜シイト云フコトハ當初カラ豫定シテ居ナイ、唯、産業保護ノ上、外國貿易保護ノ上、而シテ一面衛生ノ上カラ言フテ紡績ノ如キトハ如何ニモ異ル所ガアル、故ニ先ヅ一時間若クハ二時間ノ延長ハ已ムヲ得ヌト、斯ウ云フ風ニ諦メタモノト私ハ法文ノ上カラ見マシテモ解スル、而シテ今回原則ノ方ヲ一時間短縮シマシテ、サウシテ機械製絲及輸出絹織物等ニ付テハ、果シテドンナ時間ガ適當デアルカト云フ段ニナリマシテ、本法原則ガ一時間短縮ニナツタカラ、隨テ一時間ノ延長ニ止メルト云フ、隨テト云フ言葉ハ便宜上使フタノデアリマスガ、私共ノ考ヘマスル所ヲ申上ゲマス、機械製絲及絹織物ニ付テモ、十二時間ガ適當デアルト信ズルガ故ニ、本法ノ原則ヲ十一時間ニシテ、而シテ施行規則ノ方ニ於テ一時間ノ延長ヲ認メタト思フノデアリマス、機械製絲及絹織物ニ於テハ、貿易ノ關係ニ於テ之ヲ保護シナケレバナラス點ニ付テハ飯塚君ト全ク同感デ、是非サウシタイト思ヒマス、サウシナケレバナラスト思ヒマス、併ナガラ政府委員カラ度々縷々申上ゲマシタ通り、一方ニ於テ我が國民ノ勞働能率ヲ保護シナケレバナラス、所謂永イ目デ見マス、現在差當テノ長時間ノ勞働ニ服セシメテ能率ガ上ル如ク見エマスケレドモ、次ノ時代次ノ國民ノ國家ヲ負擔スル場合ヲ考ヘマスト、是ハ十二時間若クハ十三時間ハ長カラウ、矢張短クシテ置イタ方ガ、次ノ時代又次ノ時代ト、其長イ間ノ國民ノ勞働能率ヲ保護スル上ニ於テ、此時間ノ短縮ガ必要デアラウ、此點ニ付テハ申ス迄モナク程度論デアリマスケレドモ、私共ハ左様ニ考ヘル、又醫者ノ調ベニ依ッテモ左様ナ成績ガ現レ居ル、製絲女工ノ疾病ナドニ付テハ、十分變フベキモノガアル、努テ之ヲ短縮致シタイガ、已ムヲ得ズ産業ノ保護ト云フ上カラ、兩方カラ計算致シマシテ、國家全體トシテ斯様ナ時間ニ短縮シ、一方ニ生産ヲ保護シタイ、是ガ我が國家ノ進運ヲ圖リ、サウシテ人類ノ幸福ヲ圖ル所以デアルト考ヘル、十三時間ニシテ勞働保健、勞働衛生ノ上ニ少シモ差支無イトハ言ヒ難イ、矢張時間ヲ短クシ

タイ、製絲女工ニ付テ其憂フベキ傾向ガ見エテ居ル、申上ゲル迄モナク女工ハ後ノ國民ヲ生ム所ノ母トナル所ノ人デアリマスカラ、努メテ此健康ヲ保護シナケレバナラス、左様ナ趣旨デアリマスカラ、畢竟御趣意ト私共ノ考ヘル所ト一致シテ居リマスケレドモ、程度ニ於テハ或ハ見解ノ異ルモノアルヲ遺憾トスルノデアリマス

○武内委員 午後ハ船員最低年齡法ノ審議ニ入ルト思ヒマスガ、此審議ニ付テ文部大臣ノ出席ヲ要求シテ裁キタイ、文部大臣ガ公務上御差支デアルト云フナラバ、普通學務局長デ宜シウゴザイマス

○鈴木委員長 承知致シマシタ、午後ハ工場労働者最低年齡法案及船員最低年齡及健康證明書ニ關スル法律案ノ二案共審議ヲ了シマシテ、而シテ三案ノ討論ニ入ッテ結末ヲ著ケテ、明日日本議場ニ報告シタイと思ヒマスカラ、其積リデ午後モ御勉強ヲ願ヒマス、午後一時カラ開キマス、是ニテ休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時三十四分開議

○鈴木委員長 是ヨリ午前ニ引續キ開會致シマス、飯塚君、尙ホ質問ノ殘リガアリマスレバ、此際成ベク簡明ニ願ヒマス

○飯塚委員 成ベク簡明ニ政府委員ニ向テ質問致シマス、私ハ此工場法ノ原則ニ於テ、十一時間ニ減ラシタト云フコトハ分リマシタ、隨テ工場法施行規則ト云フモノニ質問ガ及ビマスガ、元來工場法施行規則第三條ニ於テ、生絲絹織物ノ工業ニ付テハ、當時ノ原則ヨリ一時間延長シタト云フコトハ、之ハ一時間延長ニ必要アッテ政府委員モソレヲ御認メニナツタノデアアルガ、唯、私ハ今日ノ場合、ソレハ意見トシテ一時間減ラス御考ガアルヤ否ヤト云フコトニ付テ實ハ質問ヲ致シタノデアリマス、政府ハ矢張十二時間ニスルヲ適當ト信ズルト云フ御話デアリマスルガ、私ハ素ト之ヲ置キマシタ理由ト云フモノハ、輸出絹織物工業ト云フモノ、ソレカラ製絲並ニ絹織物工業ノ業態ガ、保健衛生ノ上カラ見テモ一時間延長バシテ差支ナイ、詰リ十三時間ニナツテ差支ナイト云フノデ今日工場法施行規則ニ置イテアル、故ニ此二ツノ理由ニ於テ變化セザル以上ハ、矢張十三時間ヲ以テ適當ナリトシナケレバナラスト思ヒマスルガ、若シ之ヲ原則ノ根據ガナケレバナラス、之ヲ政府委員ハ唯、矢張十二時間ヲ以テ適當ト信ズルト云フダケデハ不満足デアル、十三時間ヲ以テ適當トシテモ保健衛生ノ點ニ於テ、或ハ外國貿易ノ輸出ノ狀況ニ於テ、差支ナイト云フ根據ガアルナラバ、ソレヲ伺ヒタ

○塚本政府委員 飯塚君ノ論ヲ以テスルト云フト、本法ノ原則ノ現在十二時間ヲ超ユルコトヲ得ストアル、此十二時間ヲ超ユルコトヲ得スト云フノ改正スルノガ惡イト云フコトニナル、之ハ勞働者ノ健康保全ノ上カラ、而シテ又産業ノ發達ヲ阻害セザル程度ニ於テ、勞働ノ保護ヲ完ウスルニハ、一時間短縮スルヲ可トスルヲ斯ウ云フノデ本法案ノ十二時間ヲ超ユルコトヲ得スト云フノ短縮シテ十二時間ニナツタ、ソレト同時ニ製絲並ニ輸出絹織物等ニ付テモ、是等ニ從事スル勞働者ノ健康保存ノ上ニ於テ一時間短縮ノ必要アリ、又之ヲ短縮スルヲ可トスル、而シテ申上グル迄モ必要ク、此現行工場法制定當時ニ於テ、絹織物或ハ機械製絲ニ於テ十四時間若ハ十三時間ヲ良シトシタノデハナイ、相當時間内ニハ短縮スルコトアルベキヲ豫想シテ居ル、ソレハ御承知ノ通り相當ノ猶豫期間内ニハ、工場ノ設備又ハ勞働者ノ訓練ニ依リテ時間ノ短縮ガアツテモ、能率ハ相當ニ上グルコトガ出來ルデアラウ、又出來サセナケレバナラヌト云フノデ、相當期間ヲ附ケタノデアル、其期限ヲ今度ハ其期限内ニ於テ短縮ヲ圖ルト云フノデ、初カラ絶對ニ永久ニ絹織物若クハ機械製絲ヲ、十四時間若クハ十三時間ガ是ナリトシタノデハナイ、唯々今日ニ於テ其十三時間ヲ十二時間ニスルコトガ適當ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ、或ハ貴方ト私共ト見解ノ相違ガアルカモ知レマセヌガ、其理由トスル所ハ、本法ノ十二時間ヲ十一時間ニ短縮スルノ少シモ異ル所ハナイ、デアルカラシテ、恐ラク私ノ考ヘマヌル所デハ意見ノ相違ニ歸スルノデハナイカト思ヒマス

○飯塚委員 イヤ第一問トシテ、此工場法十二時間ノ原則ヲ十一時間ノ原則ニシタト云フコトガ、既ニ私ハ論據ノ無イコトデアルト信ジマス、併ナガラ政府委員ノ説明ヲ聽キマシテ、ソレハサウト致シマシテ、ソレナラバ其影響トシテ施行細則ノ第三條ハドウスルカト、斯ウ云フ質問ヲ致シタノデアリマス、所ガ十三時間トスルト云フコトニナルノハ、現在ニ於キマシテハ後十年間アル、一年間ト十三時間ト云フモノハ十二時間ニナラヌト云フ御話デアル、ソレハ違フト私ハ申スノデアル、何トナレバ固ヨリ此法文デハ十二時間ト定メテ置イテ、サウシテ或ル業體ニ於テ二時間延長スルコトヲ得タル、是ハ原則ニ反スル特殊ノ例デアル、是ハ時ノ情勢上、輸出絹織物或ハ生絲業ト云フモノハ、二時間延長スル必要ガアツテ斯ウシタノデアル、其理由ハ一ハ保健衛生ノ上カラ、此業體ハ工場ガ清潔ナルコト、温度湿度、其他健康ニ適スルコトガ一ノ理由、又一ツハ輸出ニ關スル物ハ、世界ノ競争場裡ニ立ッテ産業ヲ發達セシムル必要上、犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ理由ノ下ニ此業ニ保護ヲ加ヘタノデアル、ソレ故ニ是ハ假ニ社會政策上保健衛生ノ上

カラ一律ニシナケレバナラヌトシテモ、是ハ輸出ニ關スルモノデ、外國ト競争シナケレバナラヌノダカラ、此方ノ勞働時間ガ長ケレバ競争力ガ強クナリ、向フガ弱クナル我國ノ競争力ガ十分付イタト云フコトデアレバ此從前ノ原則ニ戻ルノガ當然デアリケレドモ、此第三條ノ絹織物ニ付テハ、其當時ノ情況ト今日トハ少シモ異ナラヌ、即チ業體モ同ジデアリシ、蠶絲業ノ業務ノ執行モ其當時ト毫モ違ハヌ、ノミナラヌ絹織物ノ如キハ支那織物ニ對シテ、亞米利加ノ方ガ段々發達スルコト云フコトデアレバ、我國ノ生産物ト云フモノハ、未ダ不幸ニシテ増進セヌ情況デ、寧ロ十三時間ヲ以テ適當ト言フ當時ヨリモ、保護ヲ加ヘナケレバナラヌ情況ニナツテ居ル、故ニ私ハ今日ハ十三時間ヲ以テ少クモ適當トシナケレバナラヌト信ジデ居ル、然ルニ政府ノ方デハ原則ガ十一時間ニナツタカラ、同時ニ是モ一時間短縮スルコト云フコトハ、根據ノ無イ議論デハナイカト思フ、之ヲ一時間減ラシテモ、輸出絹織物ヤ生絲業ニ付テハ何等差支ナイト云フ少クトモ産業上ノ御意見ガナケレバナラヌ答デアル、唯、時間減シサウスレバ社會政策デアルト云フコトダケデハ、私共ハ首肯スルコトガ出來ナイ、此點ニ付テ私ハ今一應同ヒタイ

○塚本政府委員 討論ニナラヌヤウニ注意シテ申上ゲタイ、飯塚君ノ仰シヤル現行法ノ施行令ニ、本法施行五年ノ後ハ十二時間ヲ十四時間ニ延長スルコトヲ得トシテアルノハ、本法施行後、斯ウスレバ外國貿易上差支ナイト考ヘテヤッタコト、ハ考ヘラレナイ、私ハサウ解釋シテ答辯ニ代ヘタイト思フ、是ハ成ベク短イ方ガ宜イケレドモ、機械生絲他ノ事業ト違ッテ、衛生上モ比較的宜シイ、又外國貿易ノ發展ノ爲ニ資スル所ガナケレバナラヌト云フノデ、所謂例外トシテ時間ノ延長ヲ認メテ居ル、併ナガラ是ハ自ラ期限ヲ附シテ置イテ、其間ニ勞働者ノ訓練機械ノ施設、工場ノ改良ニ依リテ能率時間ヲ短縮シテモ、能率ヲ相當學ガ來ッテ、サウシテ海外貿易ノ産業ノ上ニモ大ナル阻碍ヲ來サナイヤウニ、而モ勞働者ノ保護ノ目的ヲ達セシムルヤウニシナケレバナラヌト云フノデ、期限ヲ附シタコト、思フノデアリマス、其期限ヲ附シタ趣旨ヲ今日ニ於テ實現シタイト云フノガ、今日ノ發案ノ理由トシテ解スル所デアリマス、ソレハマダ其時期デナイト仰シヤレバ、是ハ意見ノ相違デアリマシテ、私共ハ本法施行後、折角事業家ノ苦心ニ依ッテ、工場ノ改良モ學ガラレテ居ルシ、勞働者ノ訓練モ相當ニ出來テ居ルカラ、一時間短縮シテモ、産業界、貿易上ニ大ナル阻碍ヲ來スコトハアルマイ、而シテ一方ニ於テ此工場法制定當時ト比ベルト、勞働者ノ思想ニ於テ非常ニ變化ヲ來シテ居ルシ、勞働資本ト協調ヲ遂ゲテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ一層適切ニ感ズルノデアリマスカラ、一方ノ十二時間ヲ十一時間ニ短縮

スルト同ジ趣意ニ於テ、機械生絲及織物業ノ方モ、一時間短縮ヲシヤウト云フノデアリマス、斯ウ申スト本法ト施行令トハ業體ガ違フト仰シヤルカ知リマセヌガ、施行令ノ方ハ海外貿易ノ方ノ關係デアリマス、併ナガラ本法モ矢張産業上關係ガアル、對内關係ト對外關係トノ差ハアリマスガ、均シク産業上影響ノアルコトハ兩者同一デアリマス、畢竟勞働者ノ保護ト産業上ノ保護ト、果シテ調節シ得ルヤ否ヤト云フ意見ノ相違ニ歸スルコトヘマス

○鈴木委員 飯塚君、是ヨリ以上ハ内務省ノ政府委員ト貴方トノ意見ノ相違ニナルト思ヒマスカラ、産業政策ノ上カラ農商務省ノ政府委員ニ御問ニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○飯塚委員 ソレデハ農商務省ノ政府委員カラ、私ノ先程ノ質問ニ對シテ御答ヲ願ヒタイ、詰リ現行法制定ノ當時ハ、我國ノ機械生絲並ニ輸出絹織物ノ情況ニ對スル必要上、最後ノ十年間ハ十三時間ニスル必要ヲ認メタ、然ルニ今日ハ十二時間ニシテモ尙且ツ海外ニ於ケル競争上何等支障ガ無イ、我國ノ産業能率ノ上ニ於テ、一時間ニシテモ差支ナイト云フ今日ノ情況デアルカドウカト云フコトニ付テ、農商務省ノ政府委員ノ意見ヲ伺ヒタイ

○四條政府委員 只今工場法ノ改正ニ伴ヒマシテ、何カ施行規則ノ關係ニ付テノ御質問ノヤウデアリマスガ、實ハ施行規則ノ點ニ付キマシテハ、吾々ハ社會局當局ト打合せヲ致シテ居リマセヌ、隨テ今マデドウ云フ御答辯ガアリマシタガ、實ハ承知致シ兼ねマス、併シ大體只今御尋ノ點ハ、詰リ保護職工ノ就業時間ヲ一時間短縮スルト云フコトガ、今日ノ國際競争ノ最モ激烈ナラントスル際ニ當ッテ、其産業上ニ及ボス影響ハ差支ナイカト云フ御尋デアラウト解シマスルガ、勿論就業時間ヲ短縮シマス結果、幾分ノ影響ノアルコトハ認メザルヲ得ナイ、併ナガラ一面ニ於テハ就業者ノ保健狀態ヲ良好ナラシメ、一面ニ於テ能率ノ増進ヲ圖ッテ行カナケレバナラヌハ當然ノ話デアリマスカラ、今日ノ狀況カラ推シマシテモ、先ヅ大體支障ハ無カラウト考ヘテ居リマス

○飯塚委員 私ガ農商務省ノ方ノ答辯ヲ求メタイノハ、サウ云フ問題デハナイ、此工場法ヲ定メマシタ當時、機械製絲並ニ絹織物ニ對シテハ、十年間ハ十三時間ニ延長スルコトヲ得ルト書イテアルノハ、此業體ガ少クとも十三時間ノ勞働ヲシナケレバ、世界ノ競争場裡ニ立テナイト云フコトヲ認メタカラト思フ、然ルニ此改正ノ結果、十三時間ガ十二時間ニナル故ニ、十二時間ニナルト云フナラバ、ナルダケノ基礎ノ變化ガナケレバナラヌ、故ニ農商務省ノ方ニ承リタイノハ、爾來機械製絲ノ業體並ニ世界ニ於ケル競争場裡ニ對

シテ、世界的ニ日本ノ絹織物ガ競争ガナクナタ、或ハ能率ガ増進サレテ、其當時ヨリモ餘程日本ノ絹織物ハ世界ニ競争力ヲ持テ來タ、故ニ一時間ヲ減ラシテモ差支ナイト云フ狀況デアルカドウカ、ソレヲ聽キタイ、私ノ考ヘル所ニ依レバ、全ク反對デ、最近ハ支那ノ絹織物モ發達シテ、日本ノ絹織物ニ對シテ壓迫シテ居ル、又亞米利加モ今ハ輸出國トナテ、印度、南洋、支那マデモ及ンデ居ルト云フ狀況デアル、故ニ一時間減ラシテモ、尙ホ我國ノ絹織物ガ競争力ガアルト云フコトハ信ゼラレナイ、サリトテ無暗ニ長クスルト云フコトハイカサガ、少クトモ絹織物ニ付テハ現狀維持、十三時間トスル必要ガアルト認メル、ソレハ業體ガ非常ニ保健衛生上洵ニ差支ナイ狀況デアルカラデ、兎ニ角十三時間ガ適當ト認メルガ、之ヲ政府ガ十二時間ニスルト云フ根據ハ、絹織物ニ付テハ一時間減ラシテモ宜イト云フ根據ガアルカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス

○四條政府委員 絹織物ノ狀態ニ付キマシテハ、成程外國ニ於キマシテモ非常ニ進ンデ居リマスガ、又我國ノ絹織物工業モ、程度ノ差ハゴザイマスケレドモ、矢張進ンデ居ルコトハ事實デアリマス、其他絹織物ニ限リマセヌ、一般ノ織物ニ付キマシテモ、戰爭中異常ナル發達ヲ遂ゲマシタコトハ、否ムベカラザル事實デゴザイマス、斯様ナ狀況デアリマスガ故ニ、今後對外競争ニ於テ十分ナル競争ニ應ジテ行ク爲ニ、益々就業ノ保健狀態ヲ良好ナラシメ、又一面ニ於テハ相當能率ノ増進ヲ圖ルト云フコトヲ考慮シナケレバナラスト思フノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、勿論之ヲ急激ナル變動ヲ與ヘルコトハ避ケナケレバナラスケレドモ、此點ニ付キマシテ漸次就業時間ヲ適當ニ鹽梅シテ行クコトハ、今日ノ狀勢上已ムヲ得ヌコト、思フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ先ツ産業上ノ見地カラ、大體ニ於テハ支障ナカラウト云フ考デゴザイマス

○飯塚委員 此問題ニ付テハ是デ打切りマス、更ニ承リタイノハ、月二回ノ休日ヲ與ヘルト云フコトガアリマスガ、之ニ就テハ二日休ミサヘスレバ宜イト云フコトデ都合ニ依ッテハ無暗ニ期日ヲ變更スルト云フコトモアルト思ヒマスガ、政府デハ少クトモ是ハ十五日目位ニスルト云フヤウナ規定ハ設ケナイト云フコトデアリマスガ、御意見ハドチラデアリマスガ、二回休ミサヘスレバ宜イト云フノデアリマスガ、或ハ少クトモ十五日目毎ニ分ケテ休日ヲ與ヘルト云フノデアリマスガ

○河原田政府委員 休日ノ點ニ付キマシテハ、先程御答致シマシタ通り、第七條ノ解釋ト致シマシテハ、必シモ一日十五日ト云フ風ニ、一定ノ間隔ヲ置イテ休日ヲ設ケナケレバナラスト云フ意味デハナイノデアリマス、併シ理想カラ申

シマスレバ、矢張相當ノ期間ヲ置イテ休日ヲ與フルコトガ適當トハ存ジマスルガ、ソレ等ノ事ニナリマス、ソレハ地方ノ慣習モアリ、又業務ノ狀態ニ依ッテ一概ニ規定スル譯ニハ行カヌノデアリマスカラ、此點ハ法規ニハ何等規定ヲ設ケナイケレドモ、出來ルダケ適當ナル間隔ヲ置クト云フコトハ望マシイ、實際ノ狀況ヲ見マシテモ相當ノ間隔ヲ置イテ居ル、四回ノ休日ナラバ週休制度ヲ取ツテ居ルヤウデアリマス

○飯塚委員 其點ガ社會政策ノ實效アラシムル爲ニ甚ダ遺憾ト思フ、今日地方ノ狀況ヲ見ルト、唯、二回與ヘサヘスレバ宜イト云フコトニ考ヘテ、甲ノ工場ハ今日、乙ノ工場ハ明日休ムト云フ風ニナッテ居ル、又地方ニ依ッテハ十五日十六日ト續ケテアルト云フ風ニナッテ居ル、之ヲ放任シタナラバ社會政策ノ實效ハ何所ニ得ラレルカ、休マセサヘスレバ社會政策上實效ガアルト云フコトハナイ、勿論各地方一齊ニスルコトハ出來ナイガ、一地方ニ於ケル休日ガ區々ニナレバ、休日ノ利用ハ唯、休ムト云フダケニナル、故ニ甲ナラ甲ノ地方ハ、少クトモ休日ヲ一定スル、サウスレバ所謂工場ノ休日「デー」方出來ル、サウシテ之ヲ利用シテ、或ハ説教ヲ聽クトカ、演説ヲ聽クトカ、娛樂ヲサセルトカ云フヤウナ事ニ利用サセル、其處ニ始メテ機會ヲ作ルモノデアル、ソレヲ行ハズ唯、一日ト十五日ニ休メバ宜イト云フヤウナ事ヲ言フノハ、大變ナ間違ダラウト思フ、私ハ地方ニ居テ桐生、足利邊リノ實況ニ照シテ見テ、此工場法デ常ニサウ云フ風ニ月二回ト云フヤウナ事ガアル爲ニ、其日ト云フモノハ却テ惡用サレル實例ガアル、デドウシテモ是ハ月二回ト云ヘバ、一日ト十五日、第一日曜ト第三日曜ニ休ムト云フヤウニ、成ベク日時ヲ定メテ、サウシテ一定ノ所謂公休日ト云フモノヲ決メテ、サウシテ其日ニハ種々ナル娛樂ノ機會、或ハ修養ノ機會ヲ與ヘテ、サウシテ其職工ト云フ者ニ娛樂或ハ修養ヲサセルト云フ事ガ、社會政策ノ實行方法デハナイカ、唯、月二回休マセサヘスレバ宜イト云フ如キハ、西洋ノ如キハ日曜ト日曜ニ休ミマス、週休デアルカラ、其日曜ト云フコトガアッテ説教ヲ聽キ、美術館ニ行クト云フコトデ修養サレケレドモ、是ハ週休デアルカラ、少クトモ一定サセナソレガ無イカラ、月二回トスルナラバ、少クトモ一定サセナクチャナラヌ、サウシテ期間ヲ十五日間位ニ按分シテ休マセラル方法ヲサセナイナラバ、私ハ二回置イテ趣意ガ何レニ在ルカ分ラヌ、是ハ吾々ガ地方ニ於テ多年實驗致シマシテ、唯、斯ウ云フ規定ガアルガ爲ニ、種々ナル弊害ヲ生ズル、故ニ月ヲ等分シテ、サウシテ之ヲ總テノ娛樂或ハ修養ノ機會ニ充テルコトニ付テ、常ニ主張シテ居リマス、是デハ折角工場法ノ改正ノ機會ヲ得テ居ルノニ、其機會ヲ失スルコトヲ思

ヒマス、政府委員ハ尙ホ之ニ付テソレヲ實行スルノ御意思ガアルヤ否ヤ、ソレヲ承リタイ

○河原田政府委員 只今モ中上ゲマシタヤウニ、御趣旨ニ於テハ異存ハ無イノデアリマス、唯、之ヲ成ベク適當ナ間隔ヲ置イテ休マセルト云フコトハ善イ事デアルトハ存ジテ居リマス、併ナガラ之ヲ法規ヲ以テ必ズ一日トカ、十五日トカ、或ハ二週間ナリ、一週間ノ間隔ヲ置イテ休ムト云フヤウナ規定ヲ設ケテ強制スルコトハ、マダ日本ノ現在ノ實情ニ於テハ、如何デアラウカト、斯ウ考ヘテ居リマス、今日ノ所法ノ中ニ規定スルト云フ意思ハアルマセヌガ、段々ト工場監督官ノ指導ナリ、或ハ工場懇話會邊リノ協議ナリニ依ッテ、漸次今御話ノヤウナ趣旨ニ進ンダ方宜イノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス、法ヲ以テ強制スルコトハ今日ハドウカト考ヘテ居リマス

○飯塚委員 此問題ハ是デ打切りマス、甚ダサウ云フヤウナ御意見ヲ承ルコトヲ遺憾ニ存ジマス、其次ニハ今一ツ第一條ノ十五人ヲ十人ト改メルト云フコトガアリマスガ、詰リ幼年保護ノ範圍ヲ廣メタコト、思ヒマス、併シ實際ノ實情ニ於キマシテハ、十五人ヲ十人ニ範圍ヲ廣メテ保護スルト云フコトハ結構デアリマスガ、十人以下ヲ使フ所ノ者ニ對スル保護ハ、ドウ云フ風ニシテ保護ナサル考デアルカ、社會政策上承リタイ

○河原田政府委員 第一條ノ適用、工場ノ範圍ヲ擴張致シマス理由ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタガ、更ニ御尋デアリマスカラ、簡單ニ御答致シマスガ、重複ノ點ハ御容赦ヲ願ヒマス、是ハ御承知ノ通り、工場法ハ成ベク廣ク、苟モ工場ノ體裁ヲ成シテ居ル所ニハ工場法ヲ適用シテ、設備ノ上ナリ、婦女ノ上ナリ、或ハ幼少者ノ時間ノ問題ニシテ、成ベク廣ク保護ヲ與ヘテ行クト云フコトガ、是ガ一番理想ト思フ、隨テ外國邊リデハ、使ウテ居ル職工ノ數ヲ標準ニ置カズシテ工場法ヲ適用スルコトカ、或ハ假令數ヲ標準ニ置キマシテモ、其程度ヲ極メテ少ナイ數ニ置イテ居ル所モアルヤウナ次第デアリマス、是亦一面ニ於キマシテ、日本ノヤウナ、マダ産業ノ發達ガ、マダ初メノ狀態ニ在ル國柄ニ於キマシテハ、一概ニ進メルコトハ、産業ノ上ニ如何デアラウカ、即チ餘リニ小サイ工場ニ各種ノ負擔ヲ命ズル、工場法適用ノ各種ノ負擔ヲ命ズルト云フコトハ、ドウデアラウカト云フコトヲ考慮致シマシテ、大體十人ト云フコトニ決メマシタ次第デアリマス、十人以下ノ職工ヲ使ッテ居ル工場ニ對シテハドウカト云フ事ニ付キマシテハ、御意見ノ如ク如何ニモ其間ニ不權衡ノヤウナ狀態ガアリマスケレドモ、一面カラ見マスレバ、先ツ十人以下ノ工場位ハ、今日ノ所デハマア大體家庭工業ト云ヒマスガ、家内工業ト云ヒマスガ、サウ云フ風ナ域ノモノト見

テ宜シノハナナカ、隨テ工場ノ設備カラ言フモ、或ハ勞働スル作狀狀況カラ云フモ、マア大目ニ見テ、大體此工場法ノ適用ヲシテ行カナイデモ、相當便利ニヤッテ行ケルヲヤナナカ、又勞資ノ間モ比較的間ガ近イノデアリマスカラ、ソレノ極ク協調的ニヤッテ行ケルダラウ、斯ウ云フヤウナ事デ、先ツ今日デハ十人ト云フ所ニ止メテ次第デアリマス

○飯塚委員 ソレハ私ノ考ト大變ニ意見ノ相違デアリマス、實際十人以下ヲ使フ所ノ實情ト云フモノハ、家内工業デアリマス、其家内工業ニ於キマシテ、固ヨリ家族中ノ者ガ皆デ晝夜、夜ヲビテ稼グノナラ宜シイケレドモ、苟モ他人ノ子供ヲ二人デモ三人デモ五人デモ使ッテ、自分ハ儲置イテ、他人ノ者ヲ入レテ、夜ヲビテ寝グニ稼ガセ、或ハ牛馬ノ如ク召使ッテ稼ガセルト云フヤウナコトハ、是ハ詰リ十人以下ト云フ小サイ仕事ニ於テ間、アルコトデアル、故ニ却テ一番社會政策上、幼年ヤ婦女ト云フ者ガ虐待サレテ、サウシテ非常ニ申セ保護スル必要アルモノハ、家内工業ニ在リ、家内工業ト申セバ、家族ダケノモノト云フナラバ、是ハ如何ナルコトデ稼イデモ構ハナイガ、他人ノ子供ヲ五六人ナリ使ッテ、自分ハ先ハ寢テ、偶々目ヲ覺スト、仕事ヲシナイト云ッテ叱言フ言フヤウナコトガ幾ラモアル、是ハ所謂閑屋事業ト云フモノガ行ハレマスル古イ工事ニ澤山アリマス、現ニ東京府下ノ如キ、東京府ニ於テハ、詰リ家庭工業ニ於テ、一番慘憺タル狀況ニアルヤウニ思フ、地方ニ於テモ十人以下ノ人ヲ使ッテサウシテ仕事ヲスル者ハ、主人ヤ何カハ先ニ寢テ、旨イ物ヲ食ウテ、眼ノ下ニ仕事場ヲ監督シテ置イテ、仕事ヲシナイ者ハ叱言フ云ツタリ、叩イタリシテ仕事ヲサセル、サウ云フ風ニ一番悲惨ナル者ハ、十人以下ノ工場デアル、斯様ナルモノヲ却テ家庭工業トシテ、幸福ノ地位ニアルカノ如ク考ヘテ、ソレガ故ニ之ヲ保護シナイ、子シナイト云フ考ハ、社會ノ實情ニ私ハ遠フ御意見デハアルマイカト思フ、唯、私ハ實際ニ於テ、十人以下ノ家庭工業ニ於テ、幼年婦女ノ如キガ殘酷ニサレテ居ル實情カラシテ、之ヲ工場法ニ關聯シテ、何カノ法ニ於テ保護スル途ハナイカト考ヘテ居リマス、其點ニ付テ御意見ガ確カニアルコト、考ヘテ承リマシタ所ガ、却テソレ等ハ満足ノ地位ニアル、幸福ノ地位ニアルカラ、保護シナイト云フヤウナ如キハ、社會ノ實情ニ違ザカタル御意見デアルマイカト考ヘル、此點ニ付テ尙一應承リタイ

○河原田政府委員 十人以下ノ工場ニ於キマシテ、職工ガ幸福ノ狀態ニ在ルト云フコトヲ私ガ申シマシタノハ、サウ云フ意味デハナイノデ、要スルニ理想カラ言ヘバ、廣ク適用スルノガ希望デアル、併ナガラ一而現在ノ産業狀態ヲ考慮シマシテ、餘リニ小サイ工場ニ種々ナ負擔ヲ命ズルコトハ

如何デアラウト、斯ウ考ヘテ居ル爲ニ、先ツ大體十人ト云フ所ニ止メテ置イタ次第デアリマス、ソコデ十人以下ニハ、工場法ニ於キマシテ、御話ノ如ク隨分總テノ遣方ガ適當デナイノモ澤山アリマス、併シ是等ニ付テハ、工場法ノ適用セズシテモ、出來ルダケ助長ノ方法ナリ、或ハ指導ノ方法ナリニ依ッテ、工場主ヲ自省セシメテ、出來ルダケ工場主ノ保護ニ努メサシタイト考ヘテ居リマス、是ハ便宜ノ方法トシテ遣ッテ行キタイ積リデアリマス、工場法ヲ先ズ十人ニ限ッテ理由ハ、只今申シマシタヤウナ次第デアリマス

○飯塚委員 私ハ是デ時間モアリマセヌカラ、質問ヲ了リマス

○字屋委員 午前中逐條ニ對スル御審議デアッタ、私ハ不幸ニシテ缺席致シテ居リマシテ、此場合逐條ニ對スル質問ヲ致シマスノハ甚ダ失禮トハ存ジマスガ、一二御尋致シマス、第二十條ノ千圓以下ノ罰金、第二十一條ノ五百圓以下ノ罰金、罰金ガ現行ハ千圓以下ト云フノカ五百圓以下、五百圓以下ノモノガ三百圓トナッテ居リマス、此罰金ヲ五百圓乃至二百圓値上ガテ爲サタト云フコトハ、現行法施行ナサレタ場合ニ、事實三百圓以下ノモノハ五百圓取リ、又五百圓以下ノモノハ千圓以下取リナクテハ、此施行ガムツ提出ニナッテ場合、例ヘバ營業稅法ニ於テ、百圓ノモノヲ五百圓ニ直スト云フヤウナ罰金ノ値上ニナッテ居リマスノデ、政府ガ御提案ニナルト、皆ナ罰金ガ値上ヲナサルト云フコトハ、物價騰貴ノ場合デアルカラ、罰金モ値上ヲナサルト云フノデアリマスガ、罰金ノ値上ト云フコトハ、甚ダ此點ニ於キ根據ガ無イヤウニ思ヒマス、ソレヲ承リマス

○河原田政府委員 此點ニ付キマシテハ、只今御話ニナリマシタ後段ノヤウナ、所謂物價ガ上ッテ、貨幣ノ價格ガ非常ニ今日ハ上ッテ居リマシテ、戰前ニ比ベテ殆ド物價ハ二倍以上ニナッテ居ル、隨テ貨幣ハ半分ノ値打ニナツタ、斯ウ云フ狀態デアリマス、此數年來ノ政府ノ方針トシテ、法律ヲ新ニ作り、若クハ改正スル際ニハ、罰金ハソレニ應ジテ適當ニ直シテ行クト云フノガ、諸種ノ法律ヲ通ジテノ方針ニナッテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、ソレ等ト關聯シマシテ、是モ此機會ニ上ゲルノガ適當デアラウ、丁度千圓ハ昔ノ五百圓ニ相當スルカ、若クハソレヨリ寧ロ以下カモ知レヌノデアリマスガ、サウ云フ積リデアリマス

○守屋委員 モウ一ツ御尋致シマス、第二十一條ニ「若ハ忌避」ト云フ文字ガアル、此忌避スト云フ文字ヲ御入レニナツタノハ、斯ウ云フモノヲ入レナケレバ、本法ノ施行ニ對シテムツカシイト云フ御意見デアリマスガ、此點ニ付テ一例ヲ申上ゲマス、能ク大江場ニシテモ、小工場ニシテモ、段々官吏

ノ中ニハ道德ノ修ッテ居ナイ者ガアリマス、ソレ等ノ官吏ハ、殊更ニ其工場ノ或ハ女工ナドヲ見ル爲ニ這入ッテ來ル者ガアル、サウ云フ場合ニハ工場主トシテハ、例ヘバ官吏ノ臨檢ヲ受ケルト云フコトハ、工場ノ能率ニ關係致シマスカラ、成ベク這入ッテ來ナイヤウニシテ、敬遵主義ヲ取ッテ居ル、ソレデモ若シモ官吏ガ臨檢スル必要ガアレバ、仕方ナシニ臨檢サセナケレバナラス、斯ウ云フ場合ガ時々アル、若シモ官吏ニシテ敬遵主義ヲ取ッテ、若クハ拒絶スル、忌避ト云フ文字ニ適當シタ事ヲシタ時ニハ、其間ニハ必ズ其工場ニ對シテ惡イ報告、詰リ些細ナ事デモ過大ノ報告ヲシテ其工場ガ迷惑ヲ受ケル場合ガ段々アルヤウニ聞イテ居リマス、斯ウ云フ場合ガアリマスノニ殊更ニ今回忌避ト云フ文字ヲ御入レニナリマス、今度ハ忌避シタ爲ニ、直ニ五百圓以下ノ罰金ヲ科セラレルト云フコトハ、甚ダ工場主ニ取ッテハ迷惑デハナイカト思ヒマス、斯ウ云フ忌避ト云フ文字ヲ御入レニナル實例ガアル、サウシテ御入レニナラナクテハ工場法ノ適用ガ出來ナイト云フコトニナリマスガ、其點ヲ承リタイ

○河原田政府委員 是モ大體法文ノ整理デアリマシテ、御承知ノ通り拒ミ若クハ妨グト云フコトダケデアルト、積極的行動ヲシナケレバイヤナイトカ、追出ストカシナケレバナラス、消極的ニ忌避スルト云フコトガ漏レコトニナッテ、是ハ工場法バカリデナク、種々取締法規ニ於テ、所謂忌避スルヤウナ消極的行動ニ付テモ、取締規定ヲ設ケルト云フコトニナッテ居リマス、ソレ等ヲ整理シテサウ云フ場合モ含マセル、其方ガ條文トシテ完全ニナルト云フコトカラ、サウ云フヤウニ改メタ次第デアリマス、御話ノ如ク官吏ノ不當ノ行為等ニ付テハ、別問題トシマシテ、十分ニ取締ナリ監督ヲ致シタイト存ジテ居リマス、趣旨ハ只今申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○武内委員 重要ナル事項ニ付テ政府ノ御所見、殊ニ國家ノ立場トモ申シマスヤウナ事項ニ付テ御尋ラシタイト思ヒマス、外務大臣ノ御出席ヲ求メタノデアリマスガ、事ヲ設ケテ御出席ガナイノハ甚ダ遺憾ト致シマス、併シ幸ニ山川局長ガ御出席下サイマシタカラ、モウ此審議モ略々盡キントスル時デ、時日ガアリマセヌカラ、局長ノ隔意ナキ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレハ此改正案ハ慎重ニ審議サレタノデアリマスガ、主管ノ社會局ハ新設間モナイコトヤラ等ニモ依ルコト、思ヒマスガ、ドウモ立法ノ手續ニ關スル準備、又改正ノ條項ナドモ甚ダ不完全デアリシ、不徹底デアル、サウシテ色々説明ヲ聞キマシタケレドモ、成程形式ニ應答ハ出來テ居リマスケレドモ、心カラ成程此改正ハ御尤、斯ウナクチヤナラヌト云フヤウニ理解スルコトガ出來ナイノデアリマス、私ノ信ジマス所デハ、飯塚君其他カラ産業政策

上現行法ノ方宜クハナイカト云フ御尋ニ對シテ、色々ノ御陳辯ガアツタ、此點ニ對シテモ政府ノ御答辯ガ十分諒解スルコトガ出來ヌノハ、産業政策ノ上、本當ニ此幼年工ナドヲ保護スル上ニ於テ、緊急缺クベカラズト云フ見地カラ此改正案ガ出タモノデナクシテ、是ハ最モ主ナル理由ト致シマシテ、第一回ノ國際勞働會議ノ條約案及勸告ニ順應スルト云フコトガ、最モ主ナル理由ニナツテ居ルノデハナイカ、斯様ニ私ハ信ジマス、ソレガ主ナル理由トナツテ居ルノデ、此改正案ニ徹底シテ説明ガ出來ナイト、政府ノ方デハ産業政策ノ上カラ言フデモ云々ト云ハレケレドモ、實際ハ國際勞働總會ノ條約及勸告ニ最モ重キヲ置イタモノデアル、斯様ニ私ハ信ジマスルカラ、此際國際勞働條約案ト我國トノ關係ハ如何ナルモノデアルト云フコトヲ、外務當局カラ承テ置キタイ、即チ此現在國家間ノ關係ニ於テ、我帝國ハ勞働條約案及勸告ニ對シ、全ク超然タルコトガ出來ルカ、現下ノ狀況ニ於テ超然タルコトガ出來ルカ、或ル程度迄ハ詰リ拘束ヲ受ケンケレバナラヌヤウナ事態ノモノデアルカ、ソレハ如何ナル程度ノ——此條約案及勸告ヲ待テスレバ、國家ノ面目モ立チ、外國間ノ關係モ圓滿ニ維持スルコトガ出來ル性質ノモノデアルカラト云フコトヲ承リタイノデアリマス、隨意ノナイ、唯、御座ナリノコトデナクシテ、私モサウデアリマスガ、他ノ諸君モサウデアラウト思ヒマス、條約等ノ事デアリマスカラ、十分ノ調査ハ吾々ノ方デハ出來兼ネルノデアリマスカラ、眞劍ナル所ヲ懇切ニ御説明アラフコトヲ希望致シマス

○山川政府委員 今日ハ外務大臣ハ西伯利救恤ノ委員會ノ方ニ出席致マシテ、生憎次官モ出席ガ出來マセヌカラ、主管者タル私ガ出來得ルケ説明ヲ致シタイト思フノデアリマス、此勞働條約案ニ關スル事ノ只今ノ御質問デアリマスガ、對獨條約案ニ基イテ處理スベキモノデアリマス、此前一應ハ申上ゲタ積リデアリマスガ、尙ホ繰返ヘシマシテ其事ヲ説明致サウト思ヒマス、國際勞働會議ト云フモノヲ開キマシテ、又對獨條約案ニサウ云フ規定ヲ設ケマシタノハ、御承知ノ通りニ勞働者ガ歐洲大戰ノ結果トシテ、色々ナ點カラ勢力ヲ得マシテ、サウシテソレヲ其儘無視スルコトガ出來ナイ實際ノ時代ニナツタノデアリマス、此勞働問題ヲモ能ク調節スル爲ニ、特別ノ組織ヲ設ケル必要ガアルト云フノデ、對獨條約案ニ之ヲ加ヘタノデアリマス、對獨條約案ニ加ヘ、事實サウ云フ事柄ノ問題ヲ條約ニ加ヘルコトハ可笑イ事デアルガ、今ノヤウナ狀況デ出來上ツタノデアリマス、此勞働問題ヲ如何ニ國際的ニ處理スルカト云フ事ニ付キマシテハ、色々議論ガアリマシタノデアリマスガ、先ヅ從來ノ條約ヲ締結スルト云フ事柄ト全然違フ趣旨デ設ケタ

ノデアリマス、ソレハ元ハ英吉利ガ戰時ニ於キマシテ勞働協調ヲ圖フテ、戰時ニ必要ナ色々ナ工業策ヲ適當ニ實行致シテ來タト云フ事カラ起リタノデアリマス、普通ノ條約ヲ結ブ場合ニハ、各國カラ全權委員ヲ出シテ、全權委員ガ總テ同意シナケレバ條約ヲ締結スルコトハ出來ナイノデアリマス、所ガ此勞働問題ニ付キマシテハ、勞働者ノ關係又資本家ノ關係モ十分ニ調節スルコトガ出來ナイト云フコトデ、茲ニ一ツノ制度ヲ設ケマシテ、勞働總會ニ列席スル者ニ付テハ、政府ノ代表者トシテ二名、ソレカラ資本家ノ代表者トシテ一名、勞働者ノ代表者トシテ一名、各國カラ四名タケノ代表者ヲ送出スト云フコトニシタノデアリマス、サウシテ各代表者ハ自分ノ意見、自由ノ意見ヲ以テ此會議ニ臨ムコトガ出來ル、必ズシモ政府委員ノ意見ハ拘束サル、ト云フコトハナイ、民間ノ代表者ハ全然自由ノ立場ニ居ル、産業上、勞働上、任意ノ意見ヲ發表シ得ルコト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、其決議ハ列席者總テノ三分ノ二ノ多數ヲ得レバ、條約ハ採決ハ出來ルコト云フコトニナツタノデアリマス、サウ云フ立前ニ於キマシテ勞働總會ヲ設ケルコトニナリマシタノデアリマス、所ガ三分ノ二ノ多數ヲ採決スルコトニ付キマシテハ、普通ノ條約ヲ結ブト違フノデアリマス、反對スル者モアリマス、反對意見ヲ持テ居ル國モアリマスカラ、サウ云フモノヲ直ニ拘束スルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレデ各國ニ於キマシテ、特別權限アル機關ニ其條約案ヲ付議シテ、其權限アル機關デラ採用スベシト決定シタ時ニ、始メテ條約ニナルノデアリマス、サウ云フ約束ニナツテ居リマス、勸告ハ政府ノ方デ十分審議シタ上デ、意見ガ無イコトナラバ、意見ナイ、實行スルナラバ實行スル、無論勸告ヲ權限アル機關ニ付議スルコトガアリマスケレドモ、各國共違ヒマスガ、ソレハ詰リ權限アル機關ニ付議シテ、是ハ採用スベキモノデナイト云フコトニナリマスレバ、政府ハ何等外國ニ對シテ責任ハナイ、其所ガ普通ノ條約ト餘程違フ所デアアル、普通ナラバ全權委員ヲ出シテ締結スル、ソレヲ批准シナイト云フコトニナラバ、批准シナイト云フ特別ノ理由ヲ説明シテ、十分諒解スルコト云フ必要ガアリマス、ソレデ其條約案ヲ權限アル機關ニ付議シテ、採用スベカラズト云フコトニナルト、ソレハソレデオ仕舞デアアル、何等其爲ニ其國ノ政府ガ責任ヲ負フコトハナイノデアリマス、是ハ成立方特別ノ成立デアリマスカラ、サウ云フ手續ヲ執リタノデアリマス、ソコデ日本ノ權限アル機關ト云フモノハ樞密院デアリマス、各國共其國ノ規定ニ依リ、各、ソレヲ決メル所ノ機關デアリマス、大抵ハ議會デアリマスガ、議會以外ニ瑞典ノ國ノ如キハ、或ル問題ニ對シテ國民ガ投票スルト云フ手段ヲ採リテ居ル國モアリマス、我國ニ於テハ——我ガ國內法ノ解釋デ

ハ、樞密院ト云フ事ニナツテ居リマス、ソレデ此條約案ノ只今問題ニナリマシタ工場法ノ改正案ニ付キマシテハ、此四ツノ條約案、日本ニ於キマシテハ四ツノ條約案ニ關聯致シタル條約案ヲ直ニ實行スル事ハ、國內ノ産業ノ立場カラシテ、適當デナイト云フコトニ政府モ解釋シテ居ル、樞密院ニ於モサウ云フ判斷ヲシマシテ、サウシテ之ヲ批准シナイト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ是等ノ條約案ニ規定シテアリマス事柄ハ、全部直ニソックリ其儘之ヲ適用スルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマスケレドモ、産業上其他ノ關係ニテ、國內ノ事情ニ鑑ミマシテ、差支ナイ限りニ之ニ近寄リテ行クト云フコトハ又必要デアリマス、ソレデサウ云フ趣意カラ、今回ノ工場法ニ對シテハ差支ナカラウト思ヒマス

○武內委員 サウ致シマスト國內ニ於ケル産業政策、其他ノ理由ニ依ッテ、此工場法案ニ關スル規定ハ自由ニ規定シテ、少シモ國際勞働會議ニ對シ、ソレニ關係シテ居ル各國ニ對シテ少シモ差支ナイ、サウ云フコトニ顧慮シナイデ、國內ノ産業政策ナリ國內ノ社會政策ノ如何ニ依ッテ改廢シテ宜シイ、斯ウ云フ御意見ニナリマスネ

○山川政府委員 工場法ハ只今申シマス通りニ、條約案ヲ直ニ批准スルト云フ趣意デハ出シタノデアリマス、成ベク國內法ノ上カラ差支ナイ限りニ於テ、之ニ依ッテ行カウト云フノデ改正案ハ出サレタノデアリマス、ソレデ此工場法ノ改正案ハ、無論國內法トシテ此處ニ提出シテアリマス、是ハ他ニ對シマシテ議會ノ審議權ト云ヒマスガ、議決權ト云フモノカ、サウ云フコトハ普通ノ法律案ト同様デアリマス、又其影響ハ必シモ國際間ノ信義ヲ失フト云フ所ニハ參ルマイト考ヘテ居リマス、政府トシマシテハ成ベク差支ナイ限り、條約案ニ近イモノヲ實行スル方ガ適當デアラウト云フコトデ、提案ニナツタ次第ト考ヘテ居リマス

○武內委員 是ガ通常ノ條約デアニコトモ、工場法ノ國內法デアルコトモ、能ク理解シテ居リマスガ、唯、實際ノ問題トシテ、今政府委員ノ御説明ニナツタ差支ナイ限りハ成ベク之ニ順應シテ行キタイト云フ理由デスナ、何故ニサウシテ行キタイノカ、斯ウ云フ問題デアナクノ仰シヤルヤウナ國際信義ノ上ニ關係ナケレバ、ソナナ事ヲ實行スル必要ガナイト云フコトニナルト、成ベク政府トシテ、其通りシテ行キタイト云フ意味ト矛盾スル譯デ、何故ニ成ベク條約案ナリ其國內ニ順應シテ行キタイノカ、此處ガ御尋シタイ所デス

○山川政府委員 勞働問題ニ付キマシテ、國際勞働總會其他各般ニ涉リマス日本ノ態度等ニ付キマシテ、從來得タ點ヲ申シマスレバ、餘程御了解ニナルダラウト思ヒマス、日本デハ色々ノ關係カラ致シマシテ、勞働條約案ニ對スル批准ガ大分遅レタノデアリマス、ソレデ其點ハ日本許リデアリ

マセス、別ノ國ニ於キマシテモ、労働條約案ヲ批准シタノハ
マダ餘リ澤山アリマセス、少イノデアリマスガ、ドウモ日本
ノ労働狀態ト云フモノガ能ク外國人ノ頭ニ這入ッテ居ナイ、
分ッテ居ナイト云フ點ガ大分アリハシマイカ、ソレニ戰時中
ニ於キマシテ、色々日本ガ急ニ國トシテ國際間ニ於テ、國際
貿易等ニ於テテライ活動ヲシタト云フコトガ、非常ニ急ニ
外國人ニ傳ヘラレタ爲ニ、ドウモ日本ハ隨分歐羅巴諸國ト
違ッテ狀態ニ於テ安ク作ッテ、他國ノ物ヲ賣ルスト云フ誤解
ガ大分這入ッテ居ルヤウニ思ハレマス、サウ云フ色々ノ關係
カラシマシテ、労働問題ニ對シテモ、日本ノ誠意ヲ疑フト云
フヤウナ事柄ガ餘程ア、タヤウニ見受ケラレタノデアリマ
ス、併シサウ云フ事ハ、昨年第一回第二回ノ労働條約案中ノ
一ヲ批准シ、後ノ二ツノ條約案ニ付キマシテ内容ニ於テ異
議ハナイ、何レ批准スルト云フコトヲ將來執ルト云フコト
ガ明ニナリマシテ、餘程變ッテ來タノデアリマス、併ナガラ
労働問題ニ付キマシテハ、隨分各國ニ色々ノ關係ガアルノ
デアリマス、兎角日本ノミハ限リマセスガ、日本ガ特ニ勞
働條約ヲ批准シナイ、或ハ考慮シナイト云フヤウナコトニ
付テ、餘程誤解ノ傳ッテ居、タコトハ事實デアラウト思ヒマ
ス、ソレデ無論労働條約案ニ付キマシテハ、先程申シマシタ
通り權機關ニ之ヲ採用シナイコトニナレバソレ切リデア
リマス、何モ法律上條約ノ關係ハ無イノデアリマス、併シ今
ノヤウナ次第デアリマス、成ベクソレニ近寄り、出來得ル限リ
モノデアリマセス、成ベクソレニ近寄り、出來得ル限リ
レニ近イ方ニ進ンデ行ッタ方ガ、國際關係ニ於テ都合ガ宜イ
ノデアリマス、又國內産業ニ於テ其方ガ適當デナイカト云
フノデ、今回ノ改正案ガ出來上ッタ次第デアリマス考ヘテ
居リマス

○武内委員 一寸サウスルト色々誤解ガ生ジテ居、タ際ニ
於テ、第一回ノ國際労働會議ノ條約案ニ付テ、大體異議ハナ
イ、二回三回モ成ベク批准スルトコトヲ待ッテ誤解ガ解ケタ譯
デスカ、サウスルトサウ云フ行掛リガアルカラ、只條約トカ
國內法トカ云フモノ、法理上ノ關係ハ別トシテ、サウ云フ
事實上ノ關係ニ於テ、或ハ誤解ヲ解クトカ、或ハ互角ノ交際
ヲシテ行クト云フヤウナ上ニ於テ、是ガ改正スルコトガ
必要ニナル、斯ウ云フ意味デナイノデアリマス、ドウモハッ
キリ分リマセス

○山川政府委員 今御話ニナリマシタ事實ノ中デ、唯、日
本デ實際批准シマシタノハ、第一回ノ條約案ノ中ノ一ツ、第
三回ノ條約案ノ中ノ一ツ、必要ニ關スル條約ノ第三回ノ海
員ノ職業紹介所設置ニ關スル條約案、是ハ批准致シマシタ、
豫メ法律ノ御審議ヲ仰ギマシテ、サウシテ通過シマシタ
カラ、是等ハ權限機關ノ樞密院ニ諮問シマシテ、御裁決ヲ得

マシタカラ——御批准ニナリマシタカラ、其事ヲ通知シマ
シ、其他法律案ニナッテ出テ居リマスノハ、第二回ノ海上ニ
使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案、第二回ノ工業
ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案、第三回ノ強
制體格検査ニ關スル條約案、斯ウ云フモノハ、差支ナイト云
フノデ、豫メ國內ニ於ケル實施ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、先例ニ
依リ法律案ヲ提出シタノデ、ソレニソクッテ條約案ノ内容ガ
法律案トナッテ居リマス、ソレデサウ云フ關係デ、日本ガ必
ズシモ條約案ヲ其儘地ニ置クノデナイ、誠實ニ日本デハ條
約案ノ實施ヲ考慮シテ居ルト云フコトハ、了解ヲ得ルコトナ
タノデアリマス、ソレデ此工場法ニ於キマシテ、關聯スル條約
案ハ批准シナイト云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ國內
産業上差支ナイ限リニ於キマシテハ、成ベク近イ處置ヲ執ッ
テ行クト云フコトガ宜シイノデ、本案ガ提出サレタノデアリ
マス

○武内委員 貴方ニ伺フノハ、國際關係ノミデアルカ、ノミ
デナイカト云フコトハ、貴方ニ伺ッテ居ナイ、ソレハ私ノ意
見ヲ述ベタノデ、唯、此條約案ナリ勸告ヲ疎カニシテ居ナ
イ、出來ル限リサウ云フ風ニヤルンダト云フコトヲ言ッテ
外國ノ了解ヲ求メテアルカラ、其程度迄ハ行カケレバナ
ラヌ關係ニアルト云フコトヲ言ハレルノカ、何モ行掛リガ
ナイト言ハレルノカ、其論結ヲ承レバ宜イ

○山川政府委員 之ヲ成ベク近イモノニシテ實行スルト云
フコトニ付キマシテハ、何等政府ハ外國ニ對シテ約束ヲシ
タコトハアリマセス、唯、前ニ申上ガマシタ通り、成ベク
之ニ近イモノヲ國內ノ事情差支ナイ限リニ實行スルノガ至
當デアル

○武内委員 是ハ至當ト云フノハ、關係上至當ト思ハル、
ナラバ、斯ウ云フ關係ガカラ至當ダ、至當ト判斷サル、理由
ガ聞キタイ

○飯塚委員 斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマス、此工場法
ヲ今回改正スルノハ、何等聯盟労働會議ニハ拘束サレナイ、
唯、之ガ目下日本ニ於テ必要ナリト認メテ此處ニ提出シタ
斯ウ認メテ宜シイノデアリマス、拘束サレルカノ如ク、拘
束サレナイカノ如ク、甚ダ曖昧デアル、日本ニ適當ナリト認
メテ提出シタ、斯ウ云フ風ニ簡單ニ御答ガアレバ宜カラウ
ト思ヒマス

○武内委員 此郵便條約ニ御變リニナッテ居ルカラ、ソレデ
何カ拘束サレルトカ、拘束サレヌトカ云フト、間違デモ生ズ
ルカト思ッテ御陳辯ニナッテ居ルト云フ氣ガシマス、サウ云
フノデナイ、私ノ御尋ハ批准トカ云フ憲法上ノ問題ハ、裁キ
ニシテ實際行掛上デモ宜シ、釋明デモ宜シ、外國ノ關係ニ於
テ之ニ順應シテ行カケレバナラヌト云フヤウナ關係ニ

ナッテ居リマス、カ居リマセス、ナッテ居ルカト云ッテ、其仕
方ガ惡イト云ッテ、アナタノ方ヲ叱責スル譯デナイ、國家ノ
面目ノ爲ニ其心持ヲ以テ之ヲ審議シナケレバナラヌ、貴方
ノヤウニ外國トノ關係、労働會同ノ關係ガ無イ、併シスルノ
ガ至當ト思フト云フノデハ分ラヌ、斯ウ云フ關係ニ居ルカ
ラサウシタ方ガ都合ガ宜シイサウシタ方ガ順應シテ行クノ
ガ當然ノ順序ニナッテ居ルト云フコトニナラネバ、理窟ガ分
ラヌ

○山川政府委員 此條約案ノ事ニ付キマシテハ、先程申上
ガマシタ通りニ政府トシマシテハ外國ニ對シテ批准シナイ
ト云フノデアリマス、サウ云フ直ニソレデ御仕舞ニナッテ
居リマス、唯、先程武内君カラ御話ニナリマシタヤウニ、外
國ノ事實ハドウデアアルカト云フ御問デアリマシタカラ、ソ
レデ從來労働會議ノ規定ニ依リマシテ、日本ニ對スル誤解
ガ今漸次解ケツ、アル、サウ云フ事情ヲ申上ゲタノデアリ
マス、此工場法案ヲ提出スル理由ニ付キマシテハ、外務省關
係デナク、社會局關係デ御説明シタ方ガ宜イト思ヒマス、
○飯塚委員 私ハ斯様ニ解釋シテ宜カラウト思ヒマス、ソ
レニ御異議ガアレバ、御反對ガアレバ宜イ、此工場法設定ガ
何等労働會議ニ拘束サレナイ、外國ニ於テ工場法ノ講釋ヲ
聽イテ來タノデナイ、唯、社會局ガ日本ノ現狀ニ適當ナリ
ト認メテ工場法ヲ提出シタ、ソレニ相違ナイカ

○鈴木委員 今ノニ對シテ御答辯ガアリマス

○山川政府委員 色々ノ御質問ガ重ッタ爲ニ、或ハ十分御了
解ヲ得ナイノカト思ヒマス、工場法改正ニ關シテ、此法案
ニ關スル條約案ノ方ハ、日本デハ批准シナイ、此際其儘實行
ガ出來ヌカラ、批准シナイト云フコトニ決定シテ居リマス、
其事ハ向フニモ通ジデアリマス、ソレデ其問題ハ既ニ打切
ニナッテ居リマス、唯、從來ノ國際會議ニ於ケル日本ノ立場
ニ付テ、事實問題ノ御話ガアリマシタカラ、先程申上ガマシ
タノデアリマス、ソレデ十分御了解ニナッタト思ヒマス

○武内委員 此工場法ノ施行規則ノ方ニ對シテ伺ヒタイ、
輸出絹織物ニ對シテハ施行十年間猶豫スル、此輸出向ト
内地トハ工場ニ依ッテ明カナ事ガアリマス、ソレハドウ云
フ風ナ御取調ニナッテ居リマス、ノミナラズ綿布ノ何カ明
カニ工場ニ依ッテ分ッテ居リマス、或ハ一ツ工場デ兩方ヲ
ヤルモノガアリマス、サウスルト之ヲドウ云フ風ナコト
デ御監督ニナッテ居ルカ、其實際上ノコトヲ一寸伺ヒタイ

○四條政府委員 輸出絹織物ト内地向ノ絹織物トヲ製織致
シテ居リマス工場ハ、裁然區別アル工場モアリマス、又
輸出絹織物ヲ製織シ、時ニ或ハ内地向ヲ製織スル場合ノア
ル工場モアリマス、絹織物モ大體同様デアラウト思ヒマス、
實際從來農商務省ニ於キマシテ、本法ヲ施行致シマシタ場合

ニ於キマシテ、此施行規則ノ第三條ニ掲ゲテアリマス通リ、輸出絹織物ノ業務ニ關シテハ、所謂此規定通りニ時間ノ延長ヲ認メテ居、タノデアリマス、隨テ是ハ工場ニ依ッテ區別ヲシテ課デアリマセス

○武内委員 モウ一言伺ヒマス、サウ致スト實際ニ一ノ工場ニ於テ輸出ノ絹織物ヲヤルト云フ時ハ十三時間マデ許ス、サウデナイモノヲヤルト云フ場合ニハ、其異ナル度ニ屈出スルノデスカ、工場主ノ德義心ニ訴ヘテ居ルノデアリマスカ

○四條政府委員 是ハ事實上ノ認定ニ屬シテ居ルノデアリマス、屈出ハ取ッテ居リマセス

○飯塚委員 先程私ハ初メテ、アリマス、此案ノ一番初ニ承リマシタ時ニ、社會局デハ此案ヲ提出シタノハ、一ニハ經濟狀況ト労働條約ノ規定ニ順應シテ云フコトヲ承リマシタガ、段々案ノ提出ニ付テ、國際労働會議ニハ何等拘束ヲサレナイ、又國內法デ現時ノ日本ノ狀況ニ依ッテ制定サルモノデアアル、決シテ労働會議ニ依、テ八時間労働ヲ向フデ敦ハッテ來テ社會局ガ書イタモノデアナイ、今日之ヲ制定スルノハ全ク一ノ労働保護、産業、此二ノモノヲ調和サセテ茲ニ之ヲ制定シナケレバナラス、恐ラクソレニアルモノト私ハ思フ、先程絹織物ニ付テ質問致シマシタガ、農商務省デハ此施行規則ニ付テハ、何等之ニ付テマシタ研究シナカッタ云フ御話デアアル、農商務省デハ研究シナイカ知ラスガ、ソレハ夙ニ研究シナケレバナラス答ダト思ヒマス、社會局ニ移シタノハ此間デアアル、農商務省デハ元工場法ヲヤッテ居、而モ四條局長ノ管轄デヤッテ居ル、改正ヲヤラウト云フコトニ付テハ、何シロ改正シナケレバナラスト云フコトニ付テ、種種御研究下サッタコト、思ヒマス、此今回社會局デ之ヲ改正シテ、十二時間ヲ十一時間ニスルト云フコトニナレバ、除外例タル所ノ絹織物或ハ生絲、施行規則ノ十三條ニ付テハ如何ニスベキヤト云フコトハ、是ハ社會局ハ御自身御判斷下サルモ、亦所管ノ農商務省ニ諮ラテ、産業ノ狀態ニ付テ如何ノ狀態ニアルカト云フコトニ付テハ、是ハ固ヨリ御研究ニナラナケレバナラス答ト思ヒマス、農商務省デハ十一時間ニ變更サレタト云フコトハ、施行規則ニ付テ一向研究ナラナカッタト云フ御話デアアル、果シテ右様デアルナラバ、社會局ニ於テハ施行規則ノ第三條ニ對スル自分ダケデ御考慮下サッタガ、産業所管ノ農商務省ノ意見ハ微サナカッタカ、此點ヲ伺ヒタイ

○四條政府委員 其提案ニ付テハ、先程施行規則ノ條項ニ付テ、色々質問應答ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ勿論本法ノ改正ニ伴ヒマシテ、本法ノ改正ノ上ニ於テ、ソレ等ニ關聯シタ條項ニ付テハ、當然農商務省ノ意見ヲ社會局ニ於テ

徴サル、コト、確信シテ居リマス、唯々先程申上ゲマシタノハ、施行規則ノ關係ニ付テ、私ガ出席シテ居ル以前ニ、ドウ云フ話合デ質問應答ヤッタカ承知致シマセスカ、施行規則ノ内容ニ付テハ協議ハ、勿論法律制定ノ後ニ起ルコトデアリマスカラ、其點ニ付テ豫メ御斷リシテ置イタノデアリマス、勿論本法ノ改正ニ付テハ、社會局ト內務省トハ協議致シタノデアリマス

○飯塚委員 本問題ハ非常ナル重大ナル問題デ、今モ既ニ國際労働會議案ノ原則ニハ拘束サレスト云フコトデアアル、會議ノ結果ニ列國ト同様追從スルト云フコトデアラナケレバ仕方モナイガ、何等關係ナク、日本ノ産業ト社會政策ノ爲ニ立法スルト云フコトデアラナラバ、サウ云フ徹底セザルコトデ此重要ナ案ヲ決定スルト云フコトハナイト思フ、サスレバ一方ニ於テ原則ヲ認メテ、十二時間ヲ十一時間ト認メルコト云フ一方ニ於テ見ルナラバ、同時ニ施行規則ノ第三條ノ絹織物或ハ生絲ニ付テモ、當然一時間減ルト言ヒマスガ、農商務省ノ御考ハ社會局ノ言ハルハ何處ニアルカト云フコトニ付テ根據ガナイト思フ、ソレハ産業ノ實況ニ適セザル議論ト思フ、甚ダ徹底セザル議論ト思フ、唯々成ベク労働會議ノ趣旨ニ基イテ云フコトデアラナラバ、労働會議ノ結果ニ基イテ斯ウヤッタト云フナラバ又別段デアリマスガ、自ラ信ジテ國內ニ適當ナリト信ズルナラバ、相當ナル證據ガナケレバナラス、是ハ社會局ト云ヒ農商務省ト云ヒ、産業上ニ付テ之ヲ一時間減シテモ宜イト云フ根據ヲ明ニセラレンコトヲ希望スル

○鈴木委員長 飯塚君、貴方ノ發言ヲ阻止スル譯デアアリマセスガ、ソレハ先刻來ノ質問應答デ、意見ノ相違ミタイトナッテ終、タノデスカ、此以上繰返シテモ矢張同ジニナルダラウト思ヒマス、ソレニ此委員會ニハ後ニマダ幼年労働者ノ最低年齡ノ法案モアリマシテ、幾分力之ニ關聯シテ居リマスカラ、或ハ其際ニモ……

○飯塚委員 此問題ハ重要ナ問題デアリマスカラ、餘リ急ガサヤウニヤラウト思ヒマスカラ……

○正木委員 一寸議事ノ進行ニ付テ申上ゲマスガ、今飯塚君カラ色々御話ガアリマシテ、例ヘバ一時間ノ時間ヲ短縮スルト云フコトハ、斯ノ如キ事業等ニハ非常ナル影響ガアルコト云フ御説、成程無理モナイ、労働問題ニ付キマシテハ、一方ニ於テ労働者保護ト云フコト、片方ニ於テ産業ノ發達ト云フコト、餘程研究調査ニ於テモ中々難問題デアアル、希クハ之ニ付テハ農商務大臣ガ此所ニ御出席下サイマシテ能ク其事ヲ飯塚君等ノ頭ニ能ク分ルヤウニ御説明ガアリマスレバ宜カラウト思ヒマス、中々産業上ニ關シテハ大問題

デス、私ガ考ヘマシテモ、社會局カラ申シマスレバ、労働者ノ保護ト云フコトニ重キヲ置イテオ造リニナルコト、思ッテ居ル、社會局ハ産業上ハ素人ノ方デアルカラ、其方ノ説明ヲ求メテモ無駄ナ話デアアル、一方ニ於テハ重大ナ問題デスカ、或ハ農商務大臣ガ此處ニ御出席下サッテ、御説明ニナルコトガ非常ニ簡便デ、却テ進行ガ早クテ、又吾々ノ頭ニ能ク入ルト思ヒマス、委員長ニ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○武内委員 兎ニ角此問題ニ付キマシテハ、多少質問バカリデナシニ、幾ラカ協議的御意見モ承リタイ點ガアリマス、是ハ後ハ廻シテ、アトノ二案ハ簡單ノヤウデアリマスカラ、之ヲ先キヘヤッタラ宜カラウト思ヒマス

○鈴木委員長 武内君ノ御發言ノ如ク、アト二案ヲヤッテ居ル中ニ、若シ幸ニ農商務大臣ニ出席ヲ要求シマスカラ、來ラレタナラバ質問スルト云フコトニシテ、ソレデハ工場法中改正法律案ノ質問ハ此程度ニ止メマシテ、第二ノ工場労働者最低年齡法案ニ移ラウト思ヒマス

○武内委員 此工場労働者最低年齡法案ニ付テハ唯々一點デ質問致シマス、是ハ文部當局ニ伺ヒタイノデアリマス、此小學令ノ三十三條デアリマシタガ、貧困ナリ其他ノ事情ガアル者ハ、特ニ此國民教育ヲ受ケルコトガ免除サレテアルガ、現行法ノ規定デアリマス、其免除サレタ人ヲ多クハ、ドウ云フコトヲ致シテ居ルカト申シマス、大抵各種ノ工場ニ於テ相當ナル賃金ヲ得テ、自己及一家ノ補助ヲシテ居、タノデアリマス、所ガ今回此工場法ノ規定ガ改正ヲサレマシテ、從前ハ十二歳未満ノ者デモ工場ニ雇ハレルコトガ出來テ居、タノデアリマス、其規定デアッタ第二條ガ削除サレマシテ、此工業労働者最低年齡法ノ二條ニ之ヲ變、タカ、其第二條ニ依リマス、十四歳未満ノ者ハ工業ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ、但シ十二歳以上ノ者デモ其例外トシテ尋常小學校ノ教科ヲ修了シタル者ニ付テハ此限ニアラス、斯ウナッテ居ルノデアリマスガ、サウ致シマス、此尋常小學校卒業シタル者ハ、十二歳未満ノ者デモ使用サル、コトニナリマス、十二歳未満ノ者デモ使用サレマスルガ、小學校教育ヲ免除サレタ者、即チ尋常小學校卒業セヌ者ハ、此工場法ニ使ハレスト云フコトニナッテ居ル、サウ致シマス、ソレハ尤モデアアルト云フコトデ、ソレヲ國家ガ免除シ、一方ニ於テハ是マデ働イテ幾ラカ一家ノ補助ヲシテ居、タ、工場法ニハ許サレスト云フコトニナレバ、サウスルト其者ハ從前ト違、テ仕事ガ無クナル、ブラ／＼ト遊ンデ居、テ、所謂閑居シテ不善ヲ爲スト云フ者ガアリマス、是ハ國民ノ教育ノ上カラ、工場法ニ依ッテ幼者ヲ保護スルト云フ事ハ非常ニ結構デアアルケレドモ、一面ニ於キマシテハ、丁度義二板野君ノ申

デス、私ガ考ヘマシテモ、社會局カラ申シマスレバ、労働者ノ保護ト云フコトニ重キヲ置イテオ造リニナルコト、思ッテ居ル、社會局ハ産業上ハ素人ノ方デアルカラ、其方ノ説明ヲ求メテモ無駄ナ話デアアル、一方ニ於テハ重大ナ問題デスカ、或ハ農商務大臣ガ此處ニ御出席下サッテ、御説明ニナルコトガ非常ニ簡便デ、却テ進行ガ早クテ、又吾々ノ頭ニ能ク入ルト思ヒマス、委員長ニ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

サレタヤウニ、角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フ結果ガ生ズルト
思ヒマス、デアリマス、カラ此工場法ヲ斯様ニ改正スルト云
フコトハ、時代ノ要求トシテ相當ナ事デアラガ、ソレデアリ
マスナラバ尋常小學校ノ教科ヲ修了スルコトガ出來ヌ者ニ
對シテ、相當ニ教育上施設ヲシナケレバナラス、詰リ小學令
ノ貧困ノ者ニ對シテ就學ヲ免除スルト云フ規定ヲ取除イテ、
サウシテ何等カ矢張尋常小學校ヲ卒業スルコトノ出來ルヤ
ウナ方法ヲ講ゼナクチャナラヌト思ヒマス、之ヲ致シマセ
ヌナラバ、徒ラニ此法律ヲ設ケテ、サウシテ不良少年ヲ段々
造ルト云フ結果ヲ生ズルト思ヒマスガ、此點ニ付テ文部當
局ハソレ等ヲ御考慮ニナッテ居リマス、今後サウ云フ事ニ
付テ、何等カノ施設ヲサル、御考デアアルカト云フコトヲ伺
ヒタイ

○鈴木委員長 此際一寸御報告ヲ申上ゲテ置キマス、委員
麟苗代君ガ辭サレマシテ、補闕トシテ深見寅之助君ガ議長
ヨリ指名ニナリマシタ、御報告致シテ置キマス

○山崎府政委員 只今武内サンヨリ貧困ノ爲ニ小學校ノ教
育ヲ猶豫ハ免除ヲ受ケテ居リマス者ニ對シテ教育上ノ施
設ニ付テハ、何カ文部省ハ考慮致シテ居ルカト云フ御趣意
ノ御間デアリマスガ、洵ニ御尤ナ事デアリマス、大體ノ御趣
旨ハ、文部省トシマシテモ同様ノ考ヲ有ッテ居リマス、今日
小學校令ノ三十三條ニ依リマシテ、貧困ノ爲ニ猶豫ハ免
除ヲ受ケテ居リマス者ノ數ガ約四萬餘リデアリマス、尤
モ其全部ガ工場ニ使用サレテ居ルコト云フ譯デアリマス、
ノデ、工場ニ使用サレテ居ルノハ、其中ノ約二萬バカリデア
リマス、殊ニ今回ノ法律ノ改正ニ依リマシテ、直ニ工業勞働
ヲ禁ゼラレマスル者ガ三千内外ト心得テ居リマス、此三千
内外ノ者ガ今回ノ工場法ノ最低年齡ノ法律ニ依リマシテ、
直ニ工場以外ニ驅逐サレルト云フ結果ニナルデアリマス
ルガ、是等ノ者ハ教育ノ立場カラ致シマスナラバ、成べく直
ニ是ガ小學校ノ教育ヲ受ケ得ルヤウナ事ニナルコトヲ希望
致スノデアリマス、尤モ教育ノ見地カラ致シマス、單ニ此
工場ニ使用サレテ居ルノミデアリマセヌ、全部ノ貧困ノ爲
ニ猶豫ハ免除ヲ受ケテ居リマス全部ノ者ヲ、何等カノ方
法ニ依ッテ左様ナ不幸ナ者ニ國民教育ヲ受ケ得ルヤウニス
ル事ノ施設ガ必要デアラウト思フ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ
居リマス、此點ニ付キマシテハ、必シモ今回ノ問題ノ爲デモ
アリマセヌガ、文部省ト致シマシテモ、色々ノ調査ヲ致シテ居
リマシテ、是等ノ貧困ノ者ヲ救済ヲ致シマシテ、完全ニ教育
ヲ受ケ得ルヤウニシマスル爲ニハ、相當ノ經費ヲ要スルノ
デアリマス、尙ホ此一言附加ヘテ申サナケレバナラス事
ハ、今日猶豫免除ヲ受ケテ居リマス者以外、即チ就學致シテ
居リマス者ノ中デモ、約十六萬人バカリハ、極メテ不完全デハ

アリマスケレドモ、或ル程度ノ保護ヲ受ケテ就學ヲ致シ
テ居ル、是等ノ者ノ取扱方モ餘程改善シナケレバナラス、今
日ハ其爲ニ二十萬圓ノ金ヲ使ハレテ居ルノデアリマス、其
二十萬圓ノ金デ十六萬人ノ者ガ學校ニ這入ッテ居ル、是等ノ者
モ改善シナケレバナラス、サウシマスルト約二十萬人内外ノ
者ニ對シマスル學校ニ就學上ノ便宜ヲ考慮シナケレバナラ
ス、サウ云フヤウニナルノデアリマシテ、尤モ其二十萬人ノ
中ニハ色々救助ヲ致シマスル程度ニ差等ヲ設ケテ宜シカラ
ウト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ此一定ノ差等ヲ設ケマ
シテ、文部省デ調査ヲ致シテ居リマスル所ニ依リマスルト、
約三百二十萬圓位ノ經費ガ年々要スル、斯様ナ事ニナルノ
デアリマス、此三百二十萬圓ノ經費ヲ固ヨリ全部國庫デ
負擔ヲ致シテヤルト云フ性質ノモノデアリマセヌ、大部
分ハ市町村等ノ自治體ニ於キマシテ、自分ノ其團體ノ救済
ノ途ヲ講ジテ貰ヒタイノデアリマスガ、サリトテ一部分ハ
國庫デ之ヲ補給ヲスルト云フ途ヲ取リマセヌケレバ、到底
完全ヲ期スルコトニハ參ラヌノデアリマス、今日迄ハ遺憾
ナガラ政府財政ノ都合ニ依リマシテ、其計畫ガ實現ヲ致シ
テ居ラヌノデアリマスケレドモ、今後事情許シマスル限り、
成べく早く其計畫ガ實施シ得ラル、ヤウナコトヲ切ニ希望
致シテ居リマス、大體文部省デ只今考ヘテ居リマス計畫ハ、
右様ノ次第デアリマス、定ニ御尤ナ御氣付デゴザイマスガ
ラ、私共モ御同様ノ考ヲ持ッテ色々考ヲ進メテ居ル、斯様ニ
御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○武内委員 政府委員ニ御尋致シマス、殊ニ社會局長ニ御
尋ヲ致シマス、只今文部當局カラノ御説明ノアリマシタ通
リ、此工業勞働者最低年齡法ヲ改正スル事ニ依ッテ、三千人
バカリノ少年ガ詰リ其職ヲ失フ、ソレガ爲ニ何人モ考慮シ
得ルヤウニ、相當ノ仕事ガ無い、遊ンデ居ラヌケレバナラヌ
ト云フ結果ニナル、其結果ハ矢張不良少年ノ方ヘ向イテ行
クト云フコトハ、是ハ當然ノ順序ノヤウニ考ヘル、是ハ非常
ニ憂慮スベキ事デアリマスガ、當局者ハ本法ヲ實施スルマ
デニ、文部當局其他ト協議ヲシテ、左様ナ害惡ヲ生ジナイヤ
ウニ、幸福ニスルヤウナ施設ヲ實現スルト云フ責任ヲ御持
チニナルコトガ出來マス、出來マセヌカ

○田子府政委員 只今御尋ネニナリマシタ三千人バカリノ
失業ノ御話ハ、極メテ御尤ノ事デアリマス、吾々モ常ニ兒
童ノ保護ト云フコトハ注意ヲ致シテ居リマス、單リ勞働兒
童ノミナラズ、其他ニ付キマシテモ、常ニ調査研究ヲ致シテ
居リマス、此三千人ノ全國ノ失業ノ小供ニ付キマシテハ、其
生活上ニ於キマシテモ、亦精神上ノコトニ於キマシテモ、文
部當局ト協力致シマシテ、十分保護スルコトニ付ニ遺憾ナ
イ積リデアリマス、是ハ十分調査ヲ致シテ居ル、

○鈴木委員長 此事ハ非常ニ重大ナ問題デアリマス、只
今ノ文部當局ナリ、社會局當局ノ御話ヲ聽キマシテ満足ヲ
致シマシタガ、唯、是ガ改正サレマスルナラバ、實施ト云フ
コトモサウ速クハナイノデアリマス、カラ、非常ニ努力シテ
戴カナイト、其事ガ實現シナイヤウナ結果ニナル處ガアリ
マス、尙ホ重ネテ御願ヒ致シテ置キマスガ、色々實行ス
ル場合ニ於テモ、斯ウ云フ者ノ不幸ニナラヌヤウニ、何處迄
モ努力スルト云フコトニシテ戴キタイ、是ハ殊ニ切望ヲ致
ス次第デアリマス

○飯塚委員 此際農商務大臣ガ幸ヒ御出席デアリマス、カ
質問致シマス、此工場法ノ十一時間ヲ超エルヲ得スト云フ
ヤウナコトハ、是ハ一ツノ社會政策上、幼年職工ヲ保護スル
ノデアラウト思ヒマス、而シテ此大ニ但書ニ、業務ノ種類ニ
依ッテハ、前項ノ就業時間ヲ二時間以内延長スルコトヲ得ル
ト云フヤウナ規定ハ、特殊ノ産業ヲ保護スル必要カラ出
テ居ルト思フ、今回此工場法ガ改正サレルトシテ、其就業時
間ノ原則ヲ十二時間ヲ十一時間ニスルト云フコトニ提案サ
レタ、其結果此但書ニ依リマシテ工場法施行規則ノ第三條
ニ依リ、機械生絲製造ノ業務並ニ輸出絹織ノ業務ハ、本法施
行後五箇年間ハ十四時間マデ、其後十年間ハ十三時間マデ
延長スルコトヲ得ルト云フ規定ガアリマス、是モ社會局ノ
方カラノ説明ニ依レバ、原則ノ變ルト同時ニ、實際問題ニ於
テハ今後八年間ニ十二時間マデ延長スルコトヲ得ルト云フ
改正ニナルハ當然ノ事ト思フ、デ私ノ考ヘルノニハ、此工
場法ヲ此施行規則ニ於テハ此三條ハ全ク現行法ノ規則ニ依
ル十二時間デアアルカラ、隨テ此三ツノ特殊ノ業務ニ付テ十
三時間ニスル、故ニ現行法ヲ改正シテ十四時間トナレバ、是
モ十二時間トナルコトハ當然デアル、何ナレバ絹織物生
絲織物ト云フモノハ、現行法制定ノ當時ニ於テ、少クモ施行
後五年間ハ十四時間、其後十年間ト云フモノハ十三時間業
務ニ服シナケレバナラス、又シテモ差支ナイ、其處ニ根據ガ
アル、其根據ト申スノハ何カト云フト、他ノ業務ト違ヒマシ
テ、生絲業ハ絹織物工業ノ如キハ、其工場ノ設備又絹織物
ト云フ業體ノ組織カラ致シマシテ、清潔ノ業務ニシテ、室内
ノ溫度ノ如キモ健康ニ適スル業務デアル、故ニ一時間延バ
シテモ別ニ衛生ニ害ガナイ、然ルニ又其物ガ輸物デアアル、
日本ニ於テ最モ發達セナケレバナラス所ノ工業デアアル、
之ヲ少シク保護スレバ、歐米ノ工業ニ追付イテ、別ニ此保護
ノ必要ガナイマデニ發達シ得ル工業デアアルカラ、暫クノ間
之ヲ保護シテ犧牲ヲ拂ッテ、十三時間ニスル必要ガアルト認
メテ、此三條ヲ規定シタ所以デアラウト思フ、今日工場法ノ
原則ヲ改正スル時ニ當ッテ、十二時間ヲ十一時間トシタト云

フコトハ、内地ニ於テノ幼年保護ノ必要上假ニ起ツクモノトシテモ、第三條ノ業務ニ付テハ之ヲ十二時間ニシテ差支ナイ云フ論據ガナイナラバ、直ニ之ヲ勤カスト云フコトハ、私ハ原則ニ悖ルデアラウト思ヒマス、何トナレバ今日ハ此制定ノ當時ヨリモ絹織物ノ如キハ支那デモ、亞米利加デモ發達シ、外國デモ絹織物ガ盛ニナツタカラ、競争ガ烈シクナツタ不幸ニシテ我國ノ絹織物工業ハ、工場ノ設備組織ト云フモノガ、其當時ト同ジク大工業ニハナラズ、群小企業家ガ寄ツテ今日ノ工業ガ出來テ居ル、故ニ生産能率ヲ上ゲルコトガ出來ナイ、今ハ合同ヲシテ大整理ヲナサントシツ、アルノデアリマスカラ、此際現行法律ノ制定サレタ當時ヨリモ尙ホ一層ノ保護ヲ圖ラナケレバナラヌ事情ガアルト思ヒマス、然ルニ工場法ヲ改正サル、ト同時ニ、之ヲ矢張一時間減ラシテ十二時間トスルヤウナコトハ、甚ダ根據ガナイ本法ハ社會政策ト又産業上ノ二ツカラ大ニ考ヘナケレバナラヌ、社會政策トシテハ成ベク多クノ幼年職工ノ保護ヲ目的トスル、又農商務省ノ立場カラ云ヘバ、暫クの間ハ犧牲ヲ拂ツテモ、或ル特殊ノ業務ニ付テハ相當之ヲ保護スルト云フ産業上ノ見地カラ、即チ兩々相俟テ能ク調和ヲ得テ、始メテ日本ニ適當ナ工場法ノ規定ガ出來ルト思ヒマス、之ニ付テ内務省ノ府委員ニ就キマシテ多少質問ヲ致シマシタガ、農商務大臣ハ産業就中特殊ノ業務ニ付テ如何ナル御意見ヲ有テ居ラレカ、生絲織物トアリマスガ、今日ノ現狀デハ、工業ノ種類ニ依ツテ富マズベキ産業ハマダ外ニモアル、是ハ生絲織物アルガ、或ル種類ニモ及ボサナケレバナラヌ事情ガアルト思ヒマスガ、之ニ對スル農商務大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○荒井國務大臣 只今ノ御質問ニ對シマシテ、當局ノ所見ヲ申シ述ベマスガ、成程單純ニ産業ノ當業者ノ立場カラノミ考慮致シマスレバ、或ハ時間ノ長イダケ宜イカモ知レマセヌ、併ナガラ全體ヲ通觀シテ考ヘマスト、職工ノ保護又保健上カラ考ヘマシテ、今日ノ時勢ニ於テハ、相當ノ労働時間ヲ定メルト云フコトハ至當デアルト思ヒマス、ソレモ其爲ニ著シク我國ノ産業ニ影響ヲスルト云フコトデアレバ、ソレハ考フベキ事デアリマセウケレドモ、産業ノ發達ト調和ノ取レテ行ク範圍ニ於テ、相當労働時間ヲ定メルト云フコトハ、私ハ今日ノ時勢ニ於テ正當ナル手段デアルト思ヒマス、ソレデ只今御述ベニナツタ通り、内地ニ於ケル一般ノ労働時間モ、從來十二時間デアッタ、ソレヲ十一時間ニ短縮致シタ次第デアリマス、是トテモ議論ヲスレバ議論ノ餘地ハアルト思ヒマス、産業ノ點ノミカラ考ヘ、當業者ノ立場利益ノミカラ考ヘマスレバ、尙ホ十二時間ハ十三時間ニシタイト云フ考モアルカモ知レマセヌ、併ナガラ産業ノ發展上カラ見テ、

一時間短縮シテモ一向害ガアルトハ思ヒマセヌ、恐ラク能ク攻究シナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、徒ラニ時間ノ長イノミガ産業上ニ多大ノ能率ヲ與ヘルトハ云ヘナイト思ヒマス、即チ健康ノ點其他總テノ點カラ考ヘテ、ソレヨリハ少イ時間ヲ規律的ニ働カセル方ガ、能率ヲ増進スル上ニ於テ宜イモノト考ヘテ居リマス、兎ニ角全體ノ狀況カラ考ヘマシテモ、今日ノ職工ノ保護上カラ見マシテモ、又各國ノ振合カラ考ヘテモ、相當ノ労働時間ヲ改正スル必要ガアルノデ、本則ガ十二時間ノ時分ニハ、特殊ノ事業ニ限ッテ一時間減ジテ十一時間ニナツタ時ニハ、矢張特殊ノ事業ニハ一時間ノ延長デ十二時間ヲ認メルト云フコトガ至當ノヤニ考ヘマス、又蠶絲業等特殊ノ事業ニ但害ノ例外ヲ以テ十三時間ヲ認メタノ今日十二時間ニ致シタ所ガ、私ハソレ等ノ産業ニ對シテ障害ヲ與ヘルトハ思ウテ居リマセヌ、是ダケノ改正ヲ加ヘテモ、産業ノ發展ニ左シタル障害ヲ與ヘルトハ思ヒマセヌ

○飯塚委員 甚ダ執拗ノヤウデアリマスガ、農商務大臣ノ今ノ一般ノ御意見ハ其通りデアルト思ヒマス、私モサウ信ジテ居リマス、唯、現行法律ノ規定ニ依ッテ、現在原則ヲ十二時間ト定メテ、時ニ或ハ特殊ノ業務、生絲並ニ絹織物ニ付テ、殊ニ今日ハ一時間ノ延長ヲ與ヘルト云フコトハ、抑、其根據ガ何所ニアルカト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイ、ソレハ何カト申セバ、一ツハ輸出重要物產ナルガ爲、普通工業ト違フト云フコト、又絹織物ハ保健衛生ノ點ニ於テ總テガ清潔デアルト云フ、其二ツノ點ニ重キヲ置イテ、殊ニ特殊ノ業務トシテ現ニ一時間猶豫サレテ居ルト思ヒマス、ソレ故ニ若シ之ヲ一時間減ヤシ或ハ減ズト云フコトハ、原則ノ十二時間ガ一時間減ツテ十一時間トナレバ、當然是モ減ラナケレバナラスト云フコトハ、根據ガ違フト思ヒマス、今日法律ノ書方ニ於テ恰モサウナツテ居リマスケレドモ、現行法律ト致シマシテハ、内地ノ普通ノ工業ハ十二時間デアリマス、併シ輸出絹織物生絲ト云フモノハ十三時間ヲ必要トスルコトヲ認メテアルト思ヒマス、此生絲並ニ絹織物ニ付テ十三時間ニシテモ宜イト云フノハ、其當時輸出品ナルモノダケニ一ツノ保護ヲシ、又將來望ミガアルガ爲ニ保護ヲ爲シタ、サウシテ一時ノ犧牲ヲ拂ツテモ之ヲ完全ナル工業ニスルガ爲ニ犧牲ヲ拂ツタデアリマス、併シ如何ニ必要ナ物デモ、ソレガ爲メ衛生ニ害ガアルト云フコトデアレバ、勿論止メナケレバナラスガ、他ノ工業ト違ツテ、絹織物ノ如キハ安全デ而モ清潔デアルカラ、他ノ工業ニ比シテ一時間多クシテ差支ナイト認メタモノト思ヒマス、今日絹織物ノ十三時間ナルモノヲ十二時間ニスルト云フノハ、詰リ絹織物ニ付テ外國ニ

對スル競争力ガ十分殖エタトカ、或ハ外國ノ競争力ガ減ツタト云フコトノ論據ガナイナラバ、此法ハ十二時間ニシテモ宜イト云フ理窟ハナイ管デアリマス、又其當時ヨリハ保健衛生上ニ關シテ何カ惡イ事ガ出來タト云フナラバ、是ハ一時間短縮シナケレバナラスガ、其當時ヨリモ保健衛生上ノ設備ハ進ンデ居ル、又今日ノ狀況ニ於テハ支那、亞米利加ノ絹織業ハ發達シテ、其爲ニ競争ガ激甚トナリ、我國ノ絹織物ハ窮境ニ立至、テ居ル、一勉強ヲシナケレバナラヌ場合ニナツテ居ル、ソレヲ産業上ノ確信ナク、一時間減ラシテモ差支ナイト信スルト云フヤウハ、其基礎ノナイコトデ此重大問題ヲ決定スルト云フノハケシカラヌト思フ、農商務大臣ハ産業上一時間減ラシテモ差支ナイト云フ確信ガナケレバナラヌ、差支ナイト云フ具體的意見ガナケレバ、吾々贊同スルコトハ出來ナイ、只今ノ農商務大臣ノ御話ハ、私ハ今日ノ狀況ニ照シテ反對デアル、現行法律ヲ制定シタ當時ヨリハ保健衛生上ニ付テハ進ンデ居ル、又輸出品トシテハ外國ニ於テ非常ニ競争力ガハクナツテ居ル、此場合ニ一時間減ラスナラバ、産業上由ラシキ大事デアル、由ラシキ大事ト雖モ差支ナイ、ドウシテモシナケレバ、ナラヌト云フナラバ、獨デアルガ、農商務大臣ハ此重要ナル工場法ニ對シテ、殊ニ産業上ニ付テ確信ヲ以テ臨マレンコトヲ希望スルモノデアリマス、之ニ付テモウ一應農商務大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○荒井國務大臣 現行法律ニ於テ十三時間ト云フコトニ定メテアルノモ、必ズシモ絹織物業ハ衛生上其他安全デアルカラ、永久ニ十三時間デ宜シイト云フ意味デ定メタモノデハナイ、矢張現行法律ト雖モ「十年間ハ十三時間トス」トアッテ、漸次時ヲ經過スルニ從ツテ本則ニ同ルヤウニ規定シテアル、唯、急激ニ是等特殊ノ業務ニ付テ本則ノ時間ニ制限スルコトハ宜シクナイカラ、一定ノ期間ヲ置イテ、其内ニ本則ニ同ルト云フコトニ規定シテアルノデゴザイマシテ、決シテ絹織物ニ付テハ永久ニ十三時間ノ就業時間ヲ執テモ差支ナイト云フ意味デハナイヤウニ思ヒマスソレデ今日世界ノ趨勢ニ應ジテ、職工ノ保護ガ必要ニナツタカラ、本則ノ時間トスルト云フコトハ、矢張此例外ノ場合ニ於テモ、十年ヲ俟タナイデモ、今日ニ於テハ相當ニ之ヲ改正シテ置ク方ガ宜シイノデハナイカ、併ナガラ其改正ノ爲ニ我國ノ産業ガ大打撃ヲ受ケテ、絹織物ノ輸出ニ大障害ヲ及ボスト云フコトナラバ、大ニ考慮ヲ要スル次第ダケレドモ、農商務當局ニ於テモ之ヲ一時間制限シタ爲ニ、左様ナ影響ヲ來ストハ思ヒマセヌ、今日ノ狀況ニ於テハ、此就業時間ヲ一時間縮メタ爲ニ、我が輸出貿易ガ大打撃ヲ受ケケルト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ、産業ノ發展ニ障害ヲ及ボサナイト認メテ同意ヲ致シタ次第デアリマス

○飯塚委員 農商務大臣ノ御意見ハ分リマシタ、併ナガラ私ノ不滿トスルハ、之ヲ必要ナリト信ズルコト云フコトデナクシテ、必要ナリト信ズル具體的ノ基礎ヲ聽キタイ、信ズル信ズルト云フコトデアルナラバ、是ハ意見デアリマス、私ハチャント具體的ニ申シテ居ル、而シテ之ヲ維持スル必要アリト認メテ居ル、十三時間ヲ永久ニナド、申スノデハナイ、特殊ノ保護ハ手段デアル、之ヲ原則ニ引戻スノガ目的デアル、故ニ保護スル必要ナシト認メタナラバ原則ニ引戻スコトガ當然ナルコトハ知ッテ居ル、併ナガラ今日ノ狀態ハマダ已ムヲ得ナイ、此狀態ガ去ルナラバ、十年ヲ俟ズ何時デモ原則ニ引戻スベキコトハ承知シテ居ル、唯、農商務大臣ハ差支ナシト信ズルト云フ漠然タル御答辯ヲナサレコトガ遺憾デアリマスガ、此上ハ意見ニナリマスカラ質問ハ打切リマス

○正木委員 農商務大臣ニ御尋シタイ、御意見ハ只今ノ御説明デ分ッテ居リマスガ要スルニ此度出テ居ル工場法ノ改正方、産業ノ發達上別ニ障害ナイ、何等憂フルコトハナイト云フノガ農商務大臣ノ御意見デゴザイマスガ、單簡デ宜シウゴザイマスカラ御意見ヲ承リタイ

○荒井國務大臣 産業ニ對シテサシタル障害ヲ與ヘルモノデハナイト認メマス

○正木委員 然ラバ此原案ニハ三年ノ猶豫ヲ與ヘテアリマスガ、ソレヲ直ニ一箇年位カラ實行スルト云フコトニシタラドウデスカ、之ニ付テノ御意見ハドウデスカ

○荒井國務大臣 原案ノ三箇年ノ猶豫ハ適當ト思フテ居リマス

○正木委員 適當ト仰シヤルコトハ、無論原案ヲ御賛成ニナツトデアアルカラサウデアラウト思ヒマスガ、ソレデハ御趣意ト違フ、差支ナイト云ヘバ直グヤッタ宜イト思ヒマス、之ニ付テ御説明ヲ承リタイ

○荒井國務大臣 私ハ原案ノ通りニ規定サレテ差支ナイト認メル、凡ソ斯様ナ事ハ急激ニ直グ今日カラ時間ヲ一時間短縮スルト云フコトヲ實行スルコトハ困難ト思ヒマス、準備行為ガ必要デアアルカラ、ソレ故ニ三年ノ猶豫期間ヲ置イテ之ヲ實行スルコトガ適當ノヤウニ考ヘテ居リマス

○飯塚委員 本法ヲ改正サレル時ニ當ッテ施行規則ニ於テ今日ノ狀執デ何カ他ノ業務ヲ特殊ノ業務トシテ之ニ加ヘル必要アリトノ御認メハナイカ、現在此二ツヨリ無イト御思召ニナリマスガ

○荒井國務大臣 ソレ等ハ施行規則ヲ實際ニ於テ制定スル時ニ能ク考慮シタラ宜カラウト思フノデゴザイマス、他ニ是ト同様ニ必要ナモノガアリマシタラバ、ソレハ其時考慮シテ加ヘテモ宜カラウト思ヒマス

○飯塚委員 實ハ四條君カラモソレニ類スルヤウナ答辯ガアリマシタガ、現行規則ヲ執行スルニ付キマシテハ、之ニ加フベキモノガアルト無イトデハ、産業上ニ於テ餘程重大ナル關係ガアル、又之ヲ變更スルニ付テモ、重大ナルコトデアルト思フ、例ヘバ一種ノ紡績業ノ如キハ、今日ハ支那ナドトノ競争上、非常ニ當時ト違ッテ居リマス、或ル業務ニ付テハ少クトモ其當時ト今日ト違ッテ居ル事情ガ違ッテ居ルコトハ先刻モ申上ゲタ通り、永遠トカ絶對トカ云フコトハ勿論ナイ、産業ノ如キハ其時ノ情勢ニ依ラナケレバナラス、今日ノ狀況ニ於テ之ヲ保護シナケレバナラスト云フヤウナモノニ付テハ、農商務省ニ於テハ産業上ニ付テ確然タル御意見ガアツテ、サウシテ社會局トモ協調ヲ保ッテ制定シナケレバナラス、此案ヲ施行スル時ニ考ヘルト云フヤウナコトハ、産業發展ノ主務省タル農商務省、殊ニ大臣ノ御答辯トシテハ、甚ダ受取レナイ、只今保護スベキモノガアルカ無イカト云フコトニ付テハ、御考ガナケレバナラス、斯ウ云フ法案ヲ御立デニナル以上、如何ナルモノヲ此中ニ入レルカト云フコトノ御意見ハアルベキ答ト思フ、故ニアルナラバ御示シテ願ヒタイ、無イナラバ仕方ナイガ、何カ此中ニ加フベキモノガアルナラ御發表ヲ願ヒタイ

○荒井國務大臣 只今御答シタ通りデアリマス

○鈴木委員 正木君選信大臣ガ出席サレマシタ

○正木委員 次ノ案ニ關シテ居リマスガ、尙ホ農商務大臣ニ一寸御尋シタイノデス、此船員ノ事ニ付テ農商務省ノ管轄ニナッテ居ル漁船ニ付テ、之ヲ適用スル御考デアリマスガ、如何デスカ、此點ニ付テ伺ヒマス

○荒井國務大臣 漁船ハ種々ノ事情ガアリマシテ除外トシテアリマス

○正木委員 漁船ニモ隨分遠洋ニ行クモノガアリマス、サウシテ船員ヲ保護スルト云フ點カラ言ヘバ、之ヲ除クノハ理窟ニ合ハヌ、ソレハ條約案ニハ除イテアルノデスカ、是ハ國內法デアアルカラ、條約案ニ依ラナケレバナラスト云フコトハナカラウト思フ

○荒井國務大臣 漁船ニハ種々ノ事情デ本法ヲ其儘適用スルコトガ出來マセスカラ、ソレデ本法カラ省イタノデアリマス

○正木委員 種々ノ事情トハ、ドウ云フ事情デスカ、同ジ船員ヲ保護スルニ付テ、之ヲ除クトハドウ云フ事情デスカ

○荒井國務大臣 漁船ニ付テハ、漁村ニ種々ナル習慣等ガアリマシテ、一樣ニハ參ラスサウデアリマス、私モ其詳シイ事情ハ何々カト云フコトハ知リマセヌガ、種々ノ習慣ガアリマシテ、一樣ニハ參ラスト云フコトデアリマス

○鈴木委員 然レデハ農商務大臣ニ對スル質問ハ終了ト致シマス、選信大臣ガ出席サレマシタ、其前ニ申上ゲマスガ、序デアリマスカラ船員ノ最低年齢及健康證明書ニ關スル法律案ヲ議題トシテ質問ヲサレルコトヲ願ヒマス

○正木委員 第一承リタイノハ、本會デモ御尋ネ致シマシタガ、船員法ハ未成年者ヲ許シテ居ル、ソレトノ關係ハドウカト云フコトニナリマスガ、伺ヒタイ、本來言ヘバ工業者ニ付キマシテ最低年齢ヲ定メテ居ル、此意味カラ言ヘバ、船員法モ同様ニ改正サレルノガ穩當デアアル、然ルニモ拘ラズ此方デハ手ヲ觸レナイト云フノハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○前田國務大臣 一應御尤ノ御説デゴザイマスガ、過般本會議ノ時ニモ同様ノ御質疑ガアリマシテ、其時ニ御答申上ゲマシタ通り、工業勞働者ノ使用年齢ノ制限ノ法案ニ對比シマシテ、此法案ヲ制定スルニ至ッテ次第デアリマス、從ヒマシテ此法案ガ成立致シマシタラバ、船員法中ノ年齢ニ關スル部分ハ、此新シキ法律ニ依ッテ變更改シ得ルコト、信ジテ居ル次第デアリマス、而シテナゼ船員法ヲ改正シナイカト云フ御尋デアリマスガ、是モ先般申上ゲマス通り、此法案ハ雇傭關係ヲ新ニ定メル目的ノ爲ニ生ジタ法案デアリマス、全般ニ亘ル船員法ヲ改正致シマセヌデモ、此法案ガ成立致シマスレバ、其目的ヲ達スル次第ト思ヒマス、船員法全般ニ亘リマシテ改正ヲ致ス時機ハ何レアルカモ知レマセヌガ、此法案ハ先般モ申デマシタ通り、今樞密院ニ諮詢中ノ條約案ト見合ヒマシテ、急速ニ立法スル必要ヲ認メマシタノデ、船員法全般ノ制定ヲ避ケマシテ、單ニ年餘ノ制限ヲスルヲ便宜ト考ヘマシテ、此法案ヲ提出シタ次第デアリマス

○正木委員 本案ヲ施行スレバ、船員法ヲ改正シタト同ジニナルト云フコトデスカ、船員法ノ改正ヲナサル御考ハナイノデアリマスガ、如何デスカ

○前田國務大臣 早晚船員法モ改正スル時機ガアラウト信ジテ居リマス

○正木委員 モウ一ツ伺ヒマスノハ、此條約案ヲ見マスルト、條約案ノ中ニハ、火夫ニ付テ別ニ條約案ガ出來テ居ルヤウデゴザイマス、ソレニハ之ヲ御用キニナル御考ハアリマセヌカ

○前田國務大臣 火夫ニ付キマシテノ條約案ハ、採擇シナイコトニ定メテアリマス、其理由ト致シマシテハ、現下ノ海運界ノ實況ニ鑑ミマシテ、若シモ十八歳未満ノ者ヲ除クコトニナリマス、海運界ニ差支ヲ生ジマス、確カナ數ハ記憶致シテ居リマセヌケレドモ、二割カ三割位ノ多數ヲ含ンデ居ルト思ヒマス、ソレ等ノ者ヲ除キマス、是等ノ業務ニ從事致シマス者ハ、オイソレト右カラ左ニ補充スルコトモ困難

デアリマス、又一面ニ於キマシテハ多クノ失業ヲ此ニ續出サセルト云フ事ニモナル次第デアリマス、要シマスルニ現下ニ於ケル海運界ノ實況ニ鑑ミマシテ、此條約ハ採擇シナイト云フ立前カラ、其點ニ付キマシテハ立法ヲ致シタ次第デアリマス

○正木委員 初カラ其國內ニ立法スルコトヲ不適當トスル所ノ條約ノ會議ニ何故加ツタノデスガ、日本ト致シマシテサウ云フ不適當ナルモノデアル、實行スルコトハ出來ナイト云フ案ヲ議スル會議ニ何故加ツタノデスガ

○前田國務大臣 賛成シナイ積リナラ、初カラ何故參加シタカト云フ御尋デアリマスガ、併ナガラ必シモ賛成スルト云フ目的デノミ會議ニ參加スルモノデナカラウヤウニ考ヘマスノデ、會議ノ結果、我が主張ノ存スルモノガアレバ十分ニソレヲ述べ、又傾聴スベキ意見ガアリマスルナラバ之ヲ受容レル、是ガ會議ノ一體ノ立前トラウト思ヒマス、コチカラ參リマシタ代表者ニ於キマシテハ、我國ノ實情ニ鑑ミマシテ、極力其條約案ヲ採擇セラレンコトヲ主張シタノデアリマスガ、不幸ニシテソレガ破レタニ過ギナイ譯デアリマス

○正木委員 詳シイ事ハモウ少シ條文ニ付テ後御尋致シマス、大臣ニ對スル質問ハ此位ニ過ギマセヌデゴザイマスガ、若シ此法案ガ幾ラカ變改サレルトカ何カノ場合ニハ、條約ノ御批准ヲ表請セヌト云フ御考デゴザイマスガ

○前田國務大臣 或ハ只今ノ御質問ニ對シマシテ私ガ御答スルノハ不適當カモ知レマセヌガ、逕信當局ト致シマシテ只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスノハ、斯ク御答ヘ申シタガ宜カラウト思フノデアリマス、即チ政府ニ於キマシテハ、一面ニ於キマシテハ本法案ニ關係ヲ有テ居リマス條約案ニ付キマシテハ、御批准ノアルコトヲ期シテ居リマス次第デアリマス、ソレト同時ニ、ソレト相對比スベキ所ノ此法案ノ規定ヲ以テ適當ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス、併ナガラ若シモ皆様ニ於カレマシテ此法案ヲ御修正ニナテ、政府ガ希望ノ眼目ト致シテ居ル所ノモノガ茲ニ變改ヲ見マス

云フコトニナリマスレバ、是ハ所謂國民ノ代表トシテ御出デニナテ居ル諸君ノ御意見ガ御多數左様デアリマスレバ、此法律案ハ今日ノ民情ニ適シテ居ラナイト、斯様ニ認ムル外ナイデアラウト思ヒマス、從ヒマシテ樞密院ニ掛ケテアリマス御諮詢案ハ、之ヲ取下ゲルト云フ事ニナラウト考ヘマス、併シ左様ナムヅカシイ事ハ、是ハ他ノ所管ノモノデアラウト思ヒマス、私トシテハ左様ニ考ヘマス

○鈴木委員長 尙ホ逕信省ノ政府委員ニ向ッテ御尋ハアリマセヌカ

○正木委員 私ハ工場法ニ付テ伺ヒマスガ、工場法ニ於キ

マシテモ、最低年齢案ヲ工場法ノ中ニ何故加ヘナカッタノデスカ、單獨ノ法律ニ何故ヤツカ、是ハ逕信省モ同ジ事、船員最低年齢案ヲ船員法ニ加ヘル方ガ簡便デアル、丁度兩方共年齢ノ章ガアルノデスカ、ソレヘ持ッテ行ッテ加ヘレバ最モ簡明デ能ク分ル、何故別ニシタノデアリマスガ、其點ヲ兩方トモ承リタイ

○若宮政府委員 先ヅ以テ逕信省ノ方カラ御答ヲ致シマス、其點ニ付キマシテハ、先達本會議ノ際ニ正木君カラ御質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ逕信大臣ヨリ詳細答辯セラレタ事ノヤウニ承知シテ居ルノデアリマスガ、尙御尋デゴザイマスカラ、私カラ申上ゲマスレバ、船員法中ニ加ヘテ惡イト云フ理窟ハナイヤウニ考ヘマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、船員法中ニ加ヘラレマシテモ差支ガナイ事ノヤウニ思ヒマス、サリナガラ何故ニ別ニ單行法ニ致シタカト云フ理由ヲ申シマスル、先ヅ第一ニハ法ノ觀念ノ上カラ、多少ソコニ範圍ノ違ヒヲ吾々ハ發見スルノデアアル、即チ問題ニナリマスノハ小型船ノ問題デアリマス、是ガ條約ノ方ノ觀念カラ申シマス云フト、小型船ヲモ思想ノ上デハ除外シテ居ラスノデアリマス、船員法ハ御承知ノ如クニ範圍ガ小型船ヲ除外シテ居マス、是ガ即チ單行法ニシマシタ理由ノ一ツト御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラシテ尙ホ一ツハ、船員法ト矛盾スルヤ、抵觸スルヤ否ヤ、此點モ考ヘマシタノデアリマスガ、是ハ吾々ノ考デハ矛盾ガナイ積リデ居リマス、或ハ御尋ノ點ハ此船員法ノ第四條、第五條等ニ於テ、既ニ未成年者ガ船員トナル場合ヲ豫想シテ居ルノデアアル、然ルニ單行法ヲ以テ未成年者ノ一部ノ者ガ船員トナル事ヲ許スト云フ事ヲ決メテ居ルノハ、何カソコニ抵觸ガアルカノ如クニ御感じニナルノデハナカラウカト推察ヲ致スノデアリマスガ、是ハ能ク御覽下サイマス、船員法ノ方ハ未成年者ガ船員トナル場合ニ、或ハ未成年者ガ船員トナルコトヲ許サレタル場合ニ於テハ、斯々ノ手續ヲ經ベ、シト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマシテ、船員法中ニ於テハ、未成年者ガ船員トナルナラスト云フ根本義ハ決メテ居ラスノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、別ニ單行法ヲ以テ未成年者ノ一部ノ者、即チ十四歳未満ノ者ハ船員タルコトヲ得ズト決メマシタノデ、船員法ノ内容ニ何等差支ハ起キナイノデアリマス、是ハ本法案ト船員法トノ間ニ矛盾ノ起ル虞ハ絕對ニ無イコト、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ茲ニ併セテ御審議ニナッテ居リマス所ノ工業労働者ハ、是ガ只今正木君ノ御質問ノ一點デアラウト思ヒマスガ、私共ノ方カラノミ申シマスルト、工業労働者ノ最低年齢ニ關スルモノモ、一ツノ參考トシテ編成サレテ居リマス、斯様ニ工業労働ニ關スル最低年齢法ガ單行法決メラレテ居リマスレバ、ソレノ内容ニ

於キマシテモ、又罰則等ニ於キマシテモ、出來得ル限り此船員ノ最低年齢ニ關スル法案ニ於テモ形式ヲ同ジウシ、内容ヲ同ジウシタ方ガ便利デアラウ、斯様ニ考ヘマシテ、旁々單行法ニ致シタヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ッテ置キマス

○塚本政府委員 只今御尋ノ一ツニ對シテハ、逕信省ノ政府委員カラ御答ハ申上ゲマシタガ、其他ノ一ツデアアル工業労働者ノ最低年齢法ヲ工場法ノ改正トシテ提案シナイデ、之ヲ單行法トシタ理由ヲ御尋ネニナリマシタ、是ハ工業労働者ノ最低年齢法ハ、獨リ工場法適用ノ工場ニ於ケル幼年者ノミナラズ、總テノ工場ニ適用サレル、其上ニ獨リ工場法バカリデナク、土木建築其他一切ノ工業ノ企業ニ適用スルコトニナッテ居リマスノデ、即チ適用ノ範圍ヲ同ジク致シマセヌ爲ニ、別ニ單行法トシテ制定シタ方ガ便宜ダト考ヘタ次第デアリマス

○正木政府委員 労働會議ニ於テ定メマシタ條約案ニ重キヲ置イテ、之ヲ單行法ニシタイ、斯様ニ私共諒解サレルノデアリマスガ、サウデハナイノデアリマスガ

○塚本政府委員 工業労働者ノ最低年齢法ヲ單行法ニシタノハ、前ニモ申シマシタヤウニ、工業労働者ノ最低年齢法ニ關シテハ、別ニ條約ニナッテ居リマスカラ、ソレ等ノ上カラ見テ便宜ダラウト考ヘタノデアリマス

○正木委員 今ノ御答辯ト私ノ意見トハ全ク違ッテ居リマス、今ノ御答ハ之ト反對デアッテ、別ニヤル方ガ便利デアアルト云フコトデアアルガ、ソレハ私ハ餘リ官僚的過ギルト思ヒマス、併シ私ハ敢テ之ヲ追求ハ致シマセヌ、ソレカラ次ニ若宮君ノ御答デスガ、船員法ニハ女ノ事ガ書イテナイ、未成年者ト云ヘバ無論女モ遺入ル譯デアアルガ、是ガ一向ニナイ、私ハ甚ダ感心致シマセヌケレドモ、大臣ハ之ヲ追々改善スルト云フ御意見デアアルカラ、言ッタ所デ仕方ガアリマセヌカラ、別ニ言ヒマセヌ、唯、御答ニハ感心セスト云フコトダケラ言ッテ置キマス、ソレカラ次ニ同一ノ家庭ニ屬スル者ヲ使用スル場合ニハト云フ取除ガアリマスガ、是ハドウ云フ御趣意デアリマスガ、工場法ニ於キマシテモ家庭ト云フ文字ガアリマスガ、是ハドウ云フ意味ガ條約文ニハ之ヲ書イテアルカ、日本デハ一寸分リ兼ネル、之ヲ兩方トモ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○河原田政府委員 實ハ家庭ト云フ言葉ハ今回新シク用牛タノデアリマス、從來ハ餘リ家庭ト云フ言葉ハナイノデアリマス、從來ノ法律デ使ッテ居リマスノハ、同一ノ家ト云フノデアリマシテ、其趣旨ハ主トシテ同一戸籍内ニ在ル親族ト云フコトデ使ッテ居ル、所ガ是ハ家内工業ト云フモノヲ表ハス言葉トシテハ、甚ダ適當シマセヌノデ、單純ニ法律的ニ

同一ノ戸籍ニ在ル者ハ差支ナイ、サウスレバ他ニ行ッテ居ル者デモ、戸籍サヘ同ジナラバ何處ニ來テ働イテモ宜シイ、併ナガラ同ジ家ニ居ッテモ戸籍ガ違ヘバ、他ニ行ッテ働クト嚴重ナ取締ヲ受ケルノデアリマス、條約文ニハ家ニ屬スル「ファミリー」ニ屬スルト云フ言葉ヲ使ッテ居リマスガ、是ハ社會的常識ヲ以テ其家ノ家族ニ屬スルト云フ意味デ、サウ云フ言葉ヲ使ヒマシタ次第デアリマス、隨テ例ヘバマダ戸籍ニ這入ッテ居ラヌ内縁ノ妻トカ云フモノヲ使ッテ居ル場合デ、是ハ大體ニ於テ所謂同一家庭ニ屬スルモノト認メテ嚴重ナル取締ヲシナイ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○若宮政府委員 全ク條約文ニ同一家庭ト云フコトガアリマスガ、社會局ト私ノ方トハ同ジ意味ニ於テ使ッテ居リマス

○正木委員 ドウモ解釋ガ分リ兼ねマスガ、兎モ角モ工場法ノ趣意ハ、十人以上ニナッテ始メテ通用サレル、十人モ働クト云フ家庭ハ一寸少イ、況ヤ船ニ付キマシテハ、十人モ同ジ家ニ居ルコトハ逆モムヅカシイ、其邊ハドウ云フモノニ御指定ニナルノデアルカ、親類デアルカ、何處迄云フノデアルカ、私共之ヲ讀ンデモ分リ兼ねル、今少シ何カ詳シイ御見解ガアルナラバ、伺ヒタイ

○河原田政府委員 同一ノ家庭ニ屬スル者ヲ除外スル規定ハ、工場法ニハ關係致シマセヌ、工業労働者最低年齡法ニ規定致シマシテ、十四歳以下ノ者ヲ使ッテハナラヌト云フ、斯ウ云フ原則デアリマシテ、同一ノ家庭ニ屬スル者ノミヲ使ッテノ工業ニ於テハ、斯ウ云フ年齡ノ制限ヲ置カヌゾト斯ウ云フコトニナリマス、十人ト云フ故ニ限定シマセヌデ、常識カラ考ヘテ、只今申述ベマシタ一家庭ヲナシテ居ル者ニ付テハ、工業労働者最低年齡法ヲ適用シナイ、内容ハ只今申シマシタヤウニ、日本ノ習慣トシテ、又結婚ナドニ付テモ法律的ノ手續ヲシナイ者ガ澤山アリマスノデ、斯ウ云フ實情モ考ヘナケレバナラヌ、例ヘバ内縁ノ妻、戸籍ニ這入ラヌ子供モアリマセウガ、サウ云フ者デ所謂家中デヤッテ居ル仕事ニハ、斯ウ云フ嚴重ナル年齡ノ制限ヲ置カナイ、斯ウ云フ積リデアリマス

○正木委員 ソレハ工場ノ方ハ分リマスガ、船ニ付テハ非常ニ分リ憎クナッテ居リマス、ドウ云フ者ニ適用スルカ疑ガアル、今之ヲ承ッテモ別ニ明瞭ナ御答ハムヅカシイト思ヒマスカラ承リマセヌ、承ッテモ仕方ガアリマセヌカラ是デヤメデ置キマセウ

○若宮政府委員 御聽キニナラヌト仰ルノニ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デスガ、若シ一遍ダケ御説明ヲ申シテ、御諒解下サラネバ是デヤメマスガ、小型船ニ付キマシテハ夫婦親子等ガ船ニ乗ッテ一船ヲ組織シテ居ルモノヲ見受ケルノデアリマス、外國デモ承ル所ニ依リマスレバ、サウ云フコトガアリ

マス、ソレデ第二回労働總會ニ於テ、矢張斯ウ云フコトガアツタト承ッテ居リマス、我國ニ於テモ同様ナ場合ガアリマスカラ、全ク此實例ガナイト云フコトハアルマイト思ヒマス、是ダケ申シテ置キマス

○鈴木委員長 質問モ是デ終了致シマシタカラ、討論ニ移ラウト思ヒマスガ

○武内委員 簡單ニ御答ヲ願ヘバ宜イ、工場法ノ第一條ノ第二項ニ事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノトアル、之ヲ此上ニ主務大臣ガ事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノト認メタルモノトスル方ガ此際適當デハナイカト云フコトヲ御尋シタイ、ソレハ何故カト申シマス、第一條ノ現在ノ規定ニ依ルト、事業ノ性質ハ危險ナルモノ又ハ衛生上有害ナルモノハ、一般ニ廣ク制限ナク是ガ規定サレテアル、然ルニ施行令ヲ見マス、之ヲ列舉シテ制限ヲ加ヘテアル、是レ々々デヤト制限ヲ加ヘテアル、サウシテ見マス、法律上無限ニ制限ナク規定シテアルモノヲ勅令ヲ以テ或ル制限ヲ加ヘルノハ、即チ勅令ヲ以テ法律ヲ變更シタコトニナル、是ハ憲法ニ違反スルモノデアラカラ、寧ロ格別内容ニ於テサウ問題ニナル譯デアリマセヌガ、法律トシテ最善ヲ期スル上カラ、主務大臣ガ事業ノ性質云々トシテ置ケバ、施行令ナリ規則ニ御書キニナッテモ差支ナイト思フノデアリマスガ政府當局ハ左様ニ御解釋ニナリマセヌガ、御同意デハアリマセヌカ、此事ヲ御尋シタイ

○塚本政府委員 只今ノ御尋ハ少シ解シ兼ねマシタガ、第一條ノ二項ニ「事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ」ト云フノヲ「主務大臣ガ事業ノ性質危險ナルモノ又ハ衛生上有害ノ虞アルモノ」ト認メタルモノ「斯ウ書ケバ宜イト仰シヤル、サウシナイト法律ヲ以テ規定シタコトヲ勅令ニ依ッテ變更スルガ如キ嫌ガアルト仰シヤリマスガ、是ハ第一條ノ第二項ノ適用ニ依ッテ、勅令ヲ以テ第一條第二項ノ除外ヲシテ居ル譯デアリマス

○武内委員 ソレハ一寸御考ガ違ウヤウデアリマス、本法ノ適用ヲ必要トセザルト云フノハ、詰リ從來ノ十五年以上デモ、性質ガ危險又ハ衛生上有害ナモノデモ、本法ノ適用云々ト云フ規定デアルト思フ、ソレデ事業ノ性質危險ナルモノ、又ハ衛生上有害ナルモノト云フ二項ノ方ノ規定ハ、危險ナルモノト云フモノハ無限ニ規定シテアル、ソレヲ解釋シテ第一種ノ制限ヲ置クト云フコトハ、此規定ヲ變更スルコトニナルト思フ、左様ニ御考ヘニナリマセヌカ、他ノ政府委員デモ宜シウゴザイマス

○塚本政府委員 他ノ政府委員デモ宜イデスガ今ハ私ノ解釋シタ通りドウシテモサウナル、誰カ解釋シテモサウナル

○鈴木委員長 此際五分間休憩致シマス

午後四時十六分休憩

午後四時五十三分開議

○鈴木委員長 休憩前ニ引續イテ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會シ、明日午前十時ヨリ開會致シマス
午後四時五十四分散會

大正十二年三月十九日印刷

大正十二年三月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局